



あなたの理想の研修先、かならず見つかります。

いばらき医師 臨床研修

茨城県医師臨床研修連絡協議会

茨城県内の臨床研修病院総合パンフレット

2024^{年度}
令和6^{年度}向け

CONTENTS

01	茨城県で臨床研修をお考えの皆様へ
02	茨城県での研修を充実の支援体制でバックアップします

二次保健医療圏名

水戸	03	水戸赤十字病院
	05	筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター 総合病院水戸協同病院
	07	水戸済生会総合病院
	09	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター
	11	筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター 茨城県立中央病院

日立

日立

13

筑波大学附属病院
日立社会連携教育研究センター

株式会社日立製作所
日立総合病院

常陸太田 ひたちなか	15	筑波大学附属病院 ひたちなか社会連携教育研究センター	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院

土浦	17	総合病院 土浦協同病院
	19	独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター

つくば	21	筑波記念病院
	23	筑波大学附属病院
	25	筑波メディカルセンター病院
	27	筑波学園病院

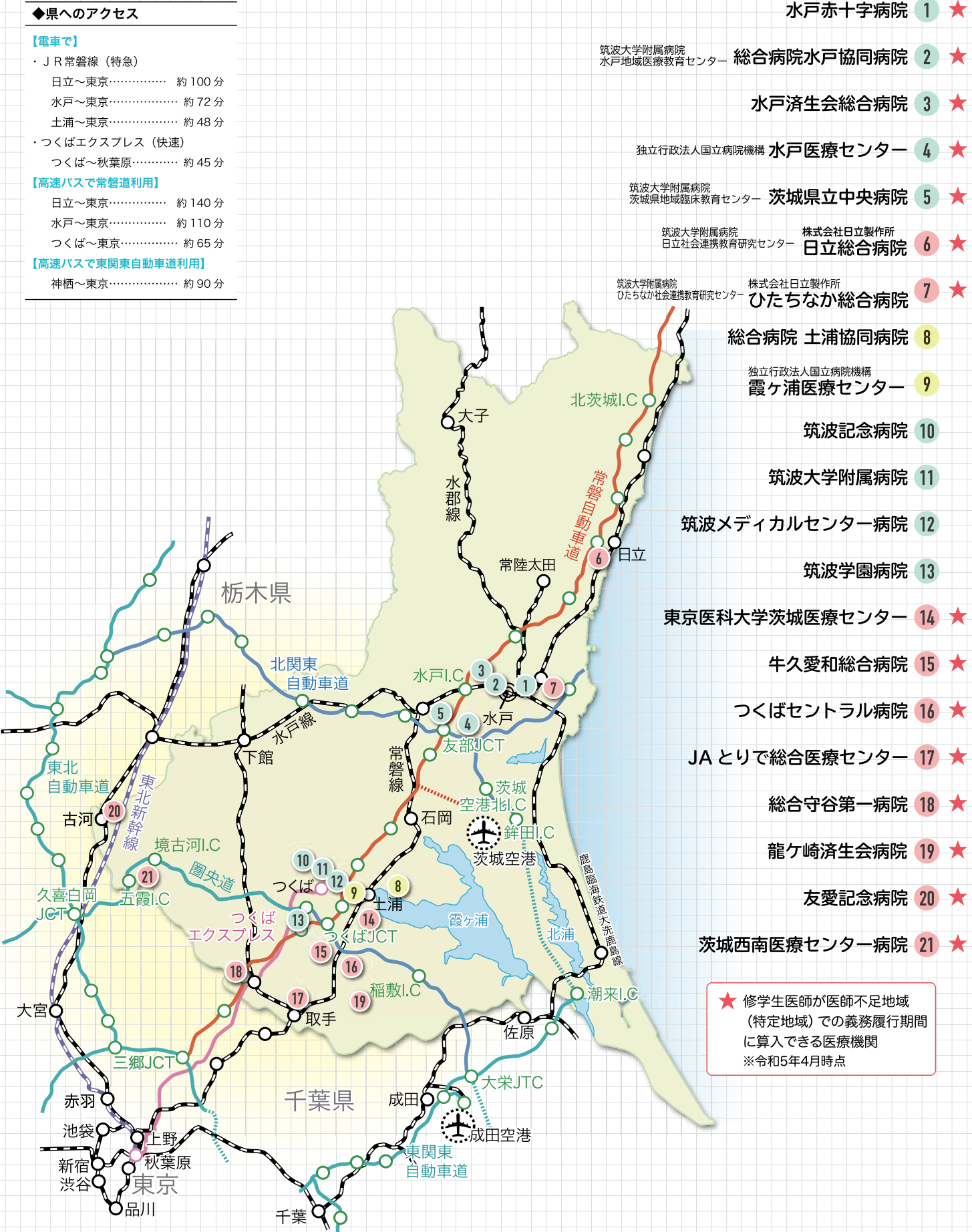
取手 竜ヶ崎	29	東京医科大学茨城医療センター
	31	牛久愛和総合病院
	33	つくばセントラル病院
	35	JA とりで総合医療センター
	37	総合守谷第一病院
	39	龍ヶ崎済生会病院

古河 坂東	41	友愛記念病院
	43	茨城西南医療センター病院

45	茨城県地域医療支援センターのご紹介
48	専門医を目指す方へ（新専門医制度）

※掲載されているプログラムは 2022年度のプログラム内容です。2023 年度には変更の可能性がありますのでご了承ください。

◆県へのアクセス	
【電車で】	
・JR常磐線（特急）	
日立～東京……………	約 100 分
水戸～東京……………	約 72 分
土浦～東京……………	約 48 分
・つくばエクスプレス（快速）	
つくば～秋葉原……………	約 45 分
【高速バスで常磐道利用】	
日立～東京……………	約 140 分
水戸～東京……………	約 110 分
つくば～東京……………	約 65 分
【高速バスで東関東自動車道利用】	
神栖～東京……………	約 90 分



茨城県内の 臨床研修病院一覧

医師多数区域

医師少数区域

その他の区域

茨城県保健医療部
医療局医療人材課
医師確保グループ

〒310-8555
茨城県水戸市笠原町 978-6

TEL:029-301-3191
FAX:029-301-3194

©E-mail : i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp

★	① 水戸赤十字病院	〒310-0011 水戸市三の丸 3-12-48 http://www.mito.jrc.or.jp/	☎ 029-221-5177	水戸
★	② 筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター 総合病院水戸協同病院	〒310-0015 水戸市宮町 3-2-7 http://www.mitokyodo-hp.jp/	☎ 029-231-2371	水戸
★	③ 水戸済生会総合病院	〒311-4198 水戸市双葉台 3-3-10 http://www.mito-saisei.jp/	☎ 029-254-5151	水戸
★	④ 独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター	〒311-3193 茨城町桜の郷 280 http://www.hosp.go.jp/~mito-mc/	☎ 029-240-7711	水戸
★	⑤ 筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター 茨城県立中央病院	〒309-1793 笠間市鯉淵 6528 http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/	☎ 0296-77-1121	水戸
★	⑥ 筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター 日立総合病院	〒317-0077 日立市城南町2丁目1番1号 http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachi/	☎ 0294-23-1111	日立
★	⑦ 筑波大学附属病院 ひたちなか社会連携教育研究センター ひたちなか総合病院	〒312-0057 ひたちなか市石川町20番1 http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html	☎ 029-354-6841	日立
	⑧ 総合病院 土浦協同病院	〒300-0028 土浦市おおつ野 4-1-1 http://www.tkgh.jp/	☎ 029-830-3711	土浦
	⑨ 独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター	〒300-8585 土浦市下高津 2-7-14 http://kasumi-hosp.jp	☎ 029-822-5050	土浦
	⑩ 筑波記念病院	〒300-2622 つくば市要 1187-299 http://www.tsukuba-kinen.or.jp	☎ 029-864-1212	つくば
	⑪ 筑波大学附属病院	〒305-8576 つくば市天久保 2-1-1 http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp	☎ 029-853-3516・3523	つくば
	⑫ 筑波メディカルセンター病院	〒305-8558 つくば市天久保 1-3-1 http://www.tmch.or.jp/hosp/index.html	☎ 029-851-3511	つくば
	⑬ 筑波学園病院	〒305-0854 つくば市上横場2573番地1 http://www.gakuen-hospital.or.jp	☎ 029-836-1355	つくば
★	⑭ 東京医科大学茨城医療センター	〒300-0395 阿見町中央 3-20-1 http://ksm.tokyo-med.ac.jp/sotsugo/	☎ 029-887-1161	取手・竜ヶ崎
★	⑮ 牛久愛和総合病院	〒300-1296 牛久市猪子町 896 http://www.jojinkai.com	☎ 029-873-3111	取手・竜ヶ崎
★	⑯ つくばセントラル病院	〒300-1211 牛久市柏田町 1589-3 http://www.central.or.jp	☎ 029-872-1771	取手・竜ヶ崎
★	⑰ JA とりで総合医療センター	〒302-0022 取手市本郷 2-1-1 http://www.toride-medical.or.jp	☎ 0297-74-5551	取手・竜ヶ崎
★	⑱ 総合守谷第一病院	〒302-0102 守谷市松前台 1-17 http://www.moriya.daiichi.or.jp/	☎ 0297-45-5370	取手・竜ヶ崎
★	⑲ 龍ヶ崎済生会病院	〒301-0854 龍ヶ崎市中里1丁目1番 http://www.ryugasaki-hp.org	☎ 0297-63-7111	取手・竜ヶ崎
★	⑳ 友愛記念病院	〒306-0232 古河市東牛谷 707 http://www.yuai-hosp-jp.org/	☎ 0280-97-3000	古河・坂東
★	㉑ 茨城西南医療センター病院	〒306-0433 境町 2190 http://www.seinan-mch.or.jp	☎ 0280-87-8111	古河・坂東

★ 修学生医師が医師不足地域（特定地域）での義務履行期間に算入できる医療機関
※令和5年4月時点

https://ibaraki-dl.jp



茨城県で臨床研修をお考えの皆様へ

茨城県医師臨床研修連絡協議会会長

筑波大学附属病院 副院長 **前野 哲博**

令和2年の初頭から始まった新型コロナウイルス感染症は、流行の波を繰り返しながら我が国の医療環境に大きな影響を与え、いまだに終息の兆しが見えない状況が続いています。このような環境の中で、WEBを駆使したコミュニケーションや情報収集はそれなりに浸透しているものの、学生諸君にとっては自由に施設見学をすることもままならず、また医療機関にとっては対面での面接など様々な制約を受けるなかで、研修病院を選ぶのは大変な状況が続いています。そのなかで茨城県にとって令和4年の臨床研修医のマッチングは、県内20臨床研修病院のうち11病院が募集定員を満たすとともに、昨年に比べマッチ者数が9名増加したことで、平成16年度の制度開始以降、過去最高となりました。これは研修医を受け入れる医療機関、大学、そして県職員の努力のたまものと感謝申し上げます。

一方、本県での医師の実数は確実に増えていますが、人口10万人当たりの医師数は203.6人と全国平均269.2人より60人以上少なく、相変わらず47都道府県中46位です。また医師偏在指標においても42位でいずれにしても医師の希少性が高い県です。それは視点を変えてみれば人口が286万人と全国11位である本県での研修は、若い医師たちにとっては、より多くの経験値を得られる良いフィールドであるともいえます。また、今回のコロナ禍は非常に大変だったものの医療崩壊といわれるような状態には陥らなかったと思っています。これは医療資源の少ない中で行政や医療機関の連携が効率的に機能している賜物と自負していますし研修環境も同様の連携が構築されています。

研修医諸君が将来を見据えた上で、臨床研修プログラムを選択しなければならないのは当然ですが、いろいろな憶測や思惑に惑わされずより良い臨床研修プログラムを選んでいただきたいと思います。プログラムを提供する茨城県の病院側の我々自身も、これらに対して十分な対処をしていくつもりです。

手前みそですが、前述のように様々な面で、茨城県では、行政である県、研究機関である大学、また実地医療機関である病院、診療所が官民一体となって連携しより良いものを目指して絶えず努力しています。臨床研修に続く新専門医制度は、運用で様々な変化していくことが予想されますが、これらの変化に対しても、各研修病院が独自色を出し柔軟に対応していく能力があり専門研修に移行する際の準備も十分に整っています。

今後卒業される医学生の方には、是非茨城県での研修を一考していただきたいと思います。

茨城の豆知識

◆基礎データ

人 口	2,860 千人	(全国第11位) (2019.10.1)
平 均 寿 命	男性 80.89歳 女性 86.94歳	(全国第40位) (全国第44位) (2020)
総面積	6,097.39km ²	(全国第24位) (2020.10.1)
可住地面積	3,888.84km ²	(全国第4位) (2020.10.1)
住宅敷地面積	394.97m ²	(全国第1位) (2018.10.1)
製造品出荷額	12兆5,812億円	(全国第7位) (2019)
農 業 産出額	4,417億円	(全国第3位) (2020)
道 路 実延長	55,507km	(全国第2位) (2020.3.31)
高齢者近住率	71.9%	(全国第4位) *子どもが同居、同一家庭、同一敷地及び近隣地域に住んでいる65歳以上人口の割合 (2019年)

◆医療関連データ

病院数	実数 人口 10万人対	173 6.0 (全国第33位、全国平均6.5) (2020.10.1)
診療所数	実数 人口 10万人対	1,743 60.8 (全国第44位、全国平均81.3) (2020.10.1)
病床数(病院)	実数 人口 10万人対	30,700床 1,070.8床 (全国第38位、全国平均1,195.1) (2020.10.1)
医師数	実数 人口 10万人対	5,838人 203.6人 (全国第46位、全国平均269.2人) (2020.12.31)
受療率(入院) (外来)		842人 (全国第36位) 5,170人 (全国第35位) (2020年10月)
一般病床利用率		68.2% (全国第40位、全国平均71.3%) (2020年)



移住後も気軽に都心へ行くことができます。

東京
↓
水戸
72分
秋葉原
↓
つくば
45分



太平洋沿岸部特有の温暖で穏やかな気候に恵まれ、年間を通して暮らしやすいのがいばらきの特徴です。

茨城県医師会の支援

～ 5年間は会費無料の医師会に入会して会員のメリットを実感しよう!～



茨城県医師会会長
鈴木 邦彦

茨城で医師の第一歩を踏み出される皆様へ

皆さん、こんにちは。茨城県医師会長の鈴木です。

研修医の皆様がこの茨城の地で、医師としての臨床研修プログラムを修得され、医師としての礎を築かれることは、茨城県医師会としても大変喜ばしいことであり、将来的な茨城の医療の底上げと質の向上を構築する上でも、極めて重要であります。

茨城県には、将来またこの地で働きたいと思われるような施設、プログラム、スタッフがあり、日々、医師のキャリア形成を支援し、指導医の養成や地域の医療機関のネットワーク強化などに注力しております。研修医の皆さんが、病院、診療所の協力体制の整った魅力ある臨床研修プログラムを体験されますことを、そして茨城の地で医師としての第一歩を踏み出されますことを心より願ってやみません。

茨城県医師会では、大学医学部卒業後5年間入会金・会費が無料となる医師会加入制度の他、40歳以下の勤務医会員の入退会・異動の手続きを代行するサポートデスクを設けております。また、医師会の携わる各種研修会や医師会報の購読（WEB）をはじめ、事業協同組合での福利厚生制度などをご利用いただけます。茨城県内研修病院にて勤務されました場合は、全面的にバックアップさせていただきたいと考えておりますので、茨城県での研修にご参加いただきました際は、是非ご検討いただければと存じます。皆様を心よりお待ちしております。

茨城県医師会勤務医入会サポートデスク

○大学医学部卒業後5年間は**会費が無料**（日本医師会、茨城県医師会、郡市等医師会）となります。また、40歳以下の勤務医の皆様
の医師会入会をサポートし、煩雑な入会手続をサポートデスクが代行します。

お申し込みは**今すぐこちらへ**

勤務医入会サポートデスク

〒310-0852水戸市笠原町489

TEL:029-241-8446

FAX:029-243-5071

E-Mail:kinmui-support@ibaraki.med.or.jp

茨城県医師会会員のメリット

- 大学医学部卒業後5年間は**会費無料**になります。
- 各種研修会・講演会**受講料無料**になります。
- 茨城県医師会報・会員専用ホームページ・メーリングリストをご利用できます。
- 茨城県医師会協同組合への加入（組合員または賛助会員）ができ、**年会費無料の常陽銀行ゴールドカードや入会金・年会費無料の京成百貨店ロイヤルカード**をご利用できます。

日本医師会では、令和5年度から大学医学部卒業後1～5年目の医師を対象として、**日本医師会会費（年額6,000円）を無料化**しています。明日の日本の医療を担う研修医の皆様に対し、日本医師会が広く門戸を開き協働を呼びかけるメッセージとしております。

もしも医療事故が起きてしまったら
日本医師会医師賠償責任保険は日本国内での医療行為をサポートします。訴訟や示談など支援

安心できる老後のために
日本医師会年金は一生涯受け取れる年金で、会員の為の私的年金

医師だと証明することが必要なとき
ICカードの医師資格証や電子証明書を発行

会員を支える安心
日本医師会が用意している様々なサポート

どこにいても大学病院並みのサービスを
日本医師会医学図書館は約110,000冊の蔵書

女性医師が、仕事と育児・家庭を両立するために
医学生や研修医への支援。復職・再研修のサポートをします

分野を問わず、最新の医学・医療を学び続けるために
日本医師会生涯教育制度はeラーニングでの受講も可能。各地で恒常的に開催しています

茨城県医師臨床研修連絡協議会の支援

臨床研修病院合同説明会

医学生の皆さんに情報収集の場を提供するため、県内の臨床研修病院が参加する合同説明会を開催しています。全国屈指の充実した指導体制と魅力ある研修プログラムを紹介します。

各病院の指導医や先輩医師にオンラインで個別相談ができます



指導医養成講習会

充実した臨床研修のためには指導体制の強化が不可欠です。国のガイドラインに基づいた「指導医養成講習会」を開催し、指導医の指導技術の向上を図っています。修了者は約2,100名（2023年3月現在）となっています。





01 水戸赤十字病院

＼ 病院の概要 ／

開設	1923 年 6 月
開設者	日本赤十字社
院長名	佐藤 宏喜
病床数	442 床
標榜科 (24科)	内科、外科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、消化器外科、血管外科、脳神経外科、乳腺外科、緩和ケア内科、整形外科、形成外科、麻酔科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科
医師数	64人
指導医数	25人
研修医数	10人

研修医の主な出身大学 | 秋田大学、高知大学、福島県立医科大学、獨協医科大学、東京医科大学

外来患者数 | 757人／日

入院患者数 | 198人／日

＼ 募集要項 ／

応募資格 | 2024年 3 月国家試験合格見込者
医師免許取得済で初期臨床研修未実施者

採用人数 | 5 名（予定）

試験日程 | 2023年 8 月上旬まで随時実施

選考方法 | 面接

処遇 | ■身 分：常勤嘱託
■給 与：1年次 40万円、賞与 20万円
2年次 45万円、賞与 50万円
■社会保険：有り
■住居手当：28,500円を上限に支給

病院見学対応状況

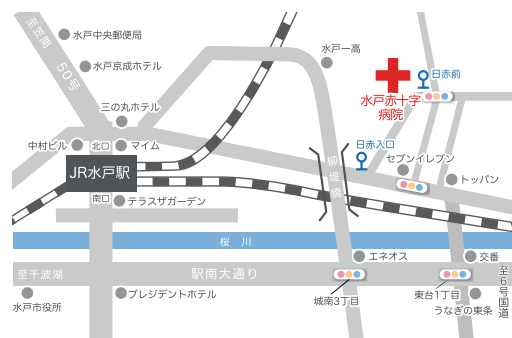
- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問合せ先…担当者：企画課 介川
TEL：029-221-5177（内線 3154）
E-mail：kikaku@mito.jrc.or.jp



＼ 応募・問合せ先 ／

水戸赤十字病院

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3丁目12番48号
担当者：企画課 介川
TEL：029-221-5177
FAX：029-227-0819
E-mail：kikaku@mito.jrc.or.jp
URL：http://www.mito.jrc.or.jp



- JR水戸駅北口
・徒歩 15 分
・茨城交通バス
（日赤病院）行（直行）⇒日赤病院下車
（日赤・城東・若宮団地）行⇒日赤病院下車
- 大洗・鉾田方面
・茨城交通バス
（大洗）（鉾田）行⇒日赤入口下車徒歩3分

女性医師支援

妊娠・出産・育児のための支援制度等

- ・育児短時間制度
- ・院内保育所の設置
（月～金 7:30～19:00(22:00まで延長可)）
（0歳～6歳まで）
- ・産前産後休暇、育児休業
- ・子の看護休暇（年間5日間） ・結婚休暇（連続5日間）
- ・出産祝金 ・介護休暇（年間5日間）
- ・時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除

－ 研修プログラムの特色 －

指導医とマンツーマンで治療を進める実践的な研修により、将来の専門性にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に対応できるプライマリ・ケアの基本的診療を身につけることができます。

1年目は基礎である内科、外科、救急科を研修し、2年目は地域医療、産婦人科、小児科、精神科以外の期間は、診療科を自由に選択できます。また、相談に応じてローテーションの変更もできます。

なお、協力病院・施設では、地域医療：いばらき診療所こづる、いばらき診療所みと、保健・医療行政：茨城県中央保健所、水戸市保健所、介護老人保健施設みがわ、茨城県赤十字血液センター、救急科：水戸済生会総合病院（三次救急）、精神科：栗田病院、内科・総合診療科：総合病院水戸協同病院での研修が可能です。

■ 研修スケジュール例

1 年次	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
	内 科						外 科			救 急			
2 年次	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
	地域医療	産婦人科	小児科	精神科	選 択 科								

選択科：内科〔総合病院水戸協同病院も選択可能〕、脳神経内科、小児科、外科、救急科〔水戸済生会総合病院（三次救急）も選択可能〕、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、麻酔科、精神科〔栗田病院〕、総合診療科〔総合病院水戸協同病院〕、地域医療〔いばらき診療所こづる、いばらき診療所みと〕、保健・医療行政〔中央保健所、介護老人保健施設みがわ、茨城県赤十字血液センター〕

■ 専門研修の募集について

当院では、下記の診療科で専門研修連携施設としてプログラムに参加しております。

診療科	基幹施設
内科	水戸済生会総合病院、水戸医療センター、東京医療センター
外科	慶應義塾大学病院、東海大学医学部付属病院、東京医科大学八王子医療センター、筑波大学附属病院、北里大学病院、藤田医科大学病院
整形外科	筑波大学附属病院、水戸協同病院
形成外科	筑波大学附属病院
脳神経外科	筑波大学附属病院（※関連施設）
皮膚科	筑波大学附属病院
泌尿器科	東邦大学病院医療センター大森病院
産婦人科	昭和大学病院、筑波大学附属病院、昭和大学横浜市北部病院
眼科	筑波大学附属病院
麻酔科	太田西ノ内病院
リハビリテーション科	筑波大学附属病院

■ 研修・認定施設一覧

- ・日本外科学会外科専門医制度 修練施設
- ・日本整形外科学会専門医制度 研修施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医 研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設 拠点教育施設
- ・日本眼科学会専門医制度 研修施設
- ・日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
- ・日本リハビリテーション医学会 研修施設
- ・日本呼吸器学会 認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会 関連認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度 指導施設
- ・日本神経学会専門医制度 教育関連施設
- ・日本消化器外科学会 専門医修練施設
- ・日本大腸肛門病学会 認定施設
- ・日本乳癌学会 認定施設
- ・日本人間ドック学会暫定研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医 指定研修施設
- ・日本ペインクリニック学会 指定研修施設
- ・日本臨床細胞学会 認定施設
- ・日本超音波医学会 研修施設
- ・日本がん治療認定医機構 認定研修施設
- ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- ・大腸CT検査技術認定施設
- ・日本腎臓学会 認定教育施設
- ・日本婦人科腫瘍学会 指定修練施設
- ・日本女性医学会 認定研修施設

病院からメッセージ



プログラム指導責任者
清水 芳政 教育研修推進室長

当院は水戸及び近隣地区の急性期医療を担う中核病院で特に外科系診療科は県内でもトップクラスの症例数を誇っています。募集人数は1学年5名で研修プログラムは、1年次（内科24週、外科16週、救急12週）で基礎をしっかりと身につけ、2年次の地域医療、産婦人科、小児科、精神科の外は希望する診療科での研修が可能です。また連携病院での研修も可能で要望に沿った研修内容を組み立てることができ、ローテーションの変更にも柔軟に対応しています。指導医とマンツーマンで診療に当たるため多くの処置や手技の修得が可能で人間力と機動力の兼ね備えた医師になって頂く事を目標としています。「赤十字の責務」である災害医療の分野にも研修医の参加を勧めています。ぜひ、生き生きとした研修医の現場を見学にいらしてください。



研修医
鈴木 宇

当院は実践型の研修が最大の特長だと考えております。内科では指導医とのマンツーマンで、初診から退院まで密に治療に関わり、1年目から研修医が主体となって病棟管理を行います。外科では指導医、後期レジデントの下、病棟管理・多様な手技・勉強すれば何件もの執刀の経験を積むことができます。研修プログラムは非常に柔軟で、興味があれば科の垣根を越えて手技や症例を経験することができます。また、比較的余裕のあるプログラムで、自己学習の時間を確保する事ができるのも大きなメリットと考えています。

研修医同士の仲は良く、お互いの経験を共有して、共に向上しあえる雰囲気です。皆様にもぜひ一度見学にいらして、当院での研修の魅力を体感していただきたいです。



筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター

総合病院水戸協同病院

＼ 病院の概要 ＼

開設	1941 年 6 月
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	渡辺 重行
病床数	389 床
標榜科 (29 科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、 内分泌代謝・糖尿病内科、循環器内科、腎臓内科、 リウマチ科、神経内科、感染症内科、血液内科、 外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、 小児外科、形成外科、脳神経外科、整形外科、 皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、 耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、麻酔科、 リハビリテーション科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科
医師数	130 人
指導医数	34 人
研修医数	初期研修医 24 名／後期研修医 41 名
研修医の主な 出身大学	筑波大学、島根大学、滋賀医科大学、 旭川医科大学、福島県立医科大学、 獨協医科大学、慶應義塾大学、金沢大学、 琉球大学、東海大学、札幌医科大学、 昭和大学、東京医科大学 など

外来患者数 | 692 人／日

入院患者数 | 275 人／日

＼ 募集要項 ＼

応募資格 | 医師免許取得者（2024 年 118 回医師国家試験を受験する者を含む）。
但し、すでに他の病院等で臨床研修または
これに準じる診療業務を行ったことがない者。

採用人数 | 10 名

試験日程 | 2023 年 8 月 22 日、26 日、29 日（予定）

選考方法 | 面接、小論文 HP にてご確認下さい

処遇 | ■ 身分：常勤職員
■ 給与：1 年次基本給 30 万円 その他諸手当等を含む年収約 600 万円
2 年次基本給 35 万円 その他諸手当等を含む年収約 700 万円
■ 社会保険：有り
■ 宿舎：有り（住宅手当）50,000 円
■ その他：専門医プログラム研修に進むことも可能
（専門医プログラム海外研修可能）

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日のみ、年末年始、年度末、年度始を除く）
- 対象…4、5、6 年
- 宿泊…補助支給 条件については問い合わせ下さい
- 問い合わせ先
担当者：研修研究支援室 福家 聡美
TEL：029-231-2371
E-mail：residency@mitokyodo-hp.jp



＼ 応募・問合せ先 ＼

筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター

総合病院水戸協同病院

〒310-0015 茨城県水戸市宮町 3 丁目 2 番 7 号

担当者：研修研究支援室 福家 聡美

TEL：029-231-2371

FAX：029-221-5137

E-mail：residency@mitokyodo-hp.jp

URL：http://www.mitokyodo-hp.jp/



東京・上野・品川駅から直通特約 1 時間

■ JR ・ JR 常磐線水戸駅下車

・ JR 水郡線水戸駅下車

■ 大工町方面バス南町 2 丁目下車

・ 常磐道～北関東自動車道

茨城町東 I.C.、又は水戸南 I.C. より 25 分

女性医師支援

当院医師の出産休暇取得実績（2009 年 4 月～2022 年 12 月）：25 名
同育児休暇取得実績（2009 年 4 月～2022 年 12 月）：24 名
（うち男性医師 10 名）

医局内搾乳スペースあり
保育施設（夜間保育月 6 回）あり
ファミリーサポート委員会設置

水戸ファミリーサポートセンター
と提携し病児保育ルームを作り、
利用しやすい環境を整えています。



保育ルーム

研修プログラムの特色

県庁所在地である、水戸市中心部に位置する第一線の臨床病院において筑波大学教官の直接指導を受けることで、
実地的研修と卒後医学教育の両面を同時に修得可能な環境を提供致します。特に初期研修において幅広い総合診療
能力を獲得することを重視したプログラム内容となっています。

研修スケジュール例

1 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	内 科			救 急			内 科			外 科		
2 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	精神科	産婦	整 形	皮膚	救 急	小 児			地域医療	内科外来	内科	

選択科：内科、外科、麻酔科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、眼科、総合診療科、救急部門、放射線科、皮膚科 等

専門研修の募集について

募集診療科	選考方法
総合内科、整形外科	ホームページにてご確認下さい

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定教育施設
- ・日本病院総合診療医学会認定施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本呼吸器外科専門医制度 筑波大学附属病院 関連施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育施設
- ・日本脳神経外科学会 筑波大学附属病院 研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本リウマチ学会認定教育施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本神経学会専門医制度教育関連施設
- ・日本頭痛学会認定教育施設
- ・日本人間ドック学会会員施設
- ・日本脳ドック学会認定施設
- ・日本甲状腺学会認定専門医指定施設
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・日本透析医学会 筑波大学附属病院関連施設
- ・日本口腔外科学会研修施設
- ・日本手外科学会専門医制度基幹研修施設
- ・日本消化器学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設（特別連携施設）
- ・日本脳卒中学会研修教育施設
- ・日本頭痛協会認定施設
- ・日本胆道学会指導施設
- ・日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設

病院からメッセージ



総合病院水戸協同病院病院長
循環器内科

渡辺 重行

内科全科間の垣根を取り去り、毎日、
全内科はもちろん救急、集中治療、感染
症、外科、病理、脳外、放射線、そし
て皮膚科、耳鼻科までもがそろって症例検討。これが世界最強の「水戸協同方式」。コンサルテーション用紙はない。院内いたる所で議論が行われ、あちこちでミニレクチャー。すべては、圧倒的な診断力、治療マネジメント力を有するジェネラリストのスペシャリストを養成するために。



研修医
馬場 麻吏

当院では、研修医が主体となって診療を
行う一方で、上級医や専門医との距離が近
く、常に相談できる環境が整っています。また、ナイトシフト制度導入や振替休日の確保など、働き方改革も進んでおり、駅や娯楽施設が生活圏内にあるなどプライベートも充実しています。仕事もプライベートも大切にしたい方は是非見学にいらしてください。



03 水戸済生会総合病院

＼ 病院の概要 ／

開設	1943年6月
開設者	社会福祉法人 済生会支部茨城県済生会
院長名	生澤 義輔
病床数	472床
標榜科 (33科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、循環器内科、糖尿病代謝内科、血液内科、病理診断科、ペインクリニック科、乳腺外科、消化器外科、緩和ケア科、腎臓内科、内分泌内科
医師数	96人
指導医数	42人
研修医数	20人
研修医の主な 出身大学	筑波大学、東京医科歯科大学、群馬大学、東京医科大学、弘前大学、新潟大学、琉球大学、杏林大学、昭和大学、島根大学、岩手医科大学 等
外来患者数	831.5人／日
入院患者数	307.6人／日

＼ 募集要項 ／

応募資格	2024年3月国家試験合格見込者
採用人数	10名(予定)
試験日程	2023年7月～8月に予定
選考方法	面接、小論文
処遇	■身分：常勤医師 ■給与：1年次基本給33万円 その他諸手当を含む年収約480万円（時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給40万円 その他諸手当を含む年収約654万円（時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：有り ■宿舎：有り（住宅手当30,000円） ■その他：

病院見学 | 随時受入可（事前連絡必要）

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…院内施設に宿泊可能（無料）
- 問い合わせ先
担当者：臨床研修センター 平根・廣木
TEL：029-254-5151
E-mail：resident@mito-saisei.jp
URL：https://recruit.mito-saiseikai.jp/entry



＼ 応募・問合せ先 ／

水戸済生会総合病院

〒311-4198 茨城県水戸市双葉台3-3-10
担当者：臨床研修センター 平根・廣木
TEL：029-254-5151
FAX：029-254-9099
E-mail：resident@mito-saisei.jp
URL：http://www.mito-saiseikai.jp/



- JR水戸駅、赤塚駅経由で双葉台3丁目（水戸済生会総合病院）行のバスが運行しています。バス利用の場合、水戸駅から約40分、赤塚駅より約15分です。
- タクシー利用の場合、赤塚駅より約10分、水戸駅より約25分です。

女性医師支援

初期研修医の妊娠・出産について
勤務体制を整えています。

保育園も完備して
います。



なでしこ保育園

一 研修プログラムの特色

- ・救命センターではドクターカー、ドクターヘリの運行により多種多様の救急症例（1次～2次～3次まで）を経験できます。
- ・周産期救急では隣接の県立こども病院との連携で切迫早産や多胎妊娠等異常分娩も多数経験できます。
- ・開業医と共同主治医となる開放型病棟では、共同診療、検討会、CPC などを通し病診連携と生涯学習のあり方等を体験できます。
- ・緩和ケア病棟ではその人らしさや、人の尊厳を見つめ直す機会を得ることができます。
- ・指導医は、医療教育にとっても熱心です。地域との協力でセミナーや検討会等の訓練の場が豊富にあります。

■ 研修スケジュール例

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内 科						救急科			外科	小児科	産婦人科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	精神科	地域医療	選 択 科									

必修科：内科(24週)、救急科(12週)、外科(4～8週)、小児科(4～8週)、産婦人科(4～8週)、精神科(4～8週)、地域医療(4～8週)、外来研修(4週以上・並行研修)
選択科：院内および院外協力病院・施設での自由選択研修【内科、救急科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、病理科、放射線科、精神科、地域保健、地域医療】

■ 専門研修の募集について

当院では、内科は基幹型で、それ以外の診療科は筑波大学などを基幹施設とするプログラムの連携施設として専門医研修を行うことができます。

当院の内科専門研修プログラムは、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、総合内科があり、神経内科や糖尿病代謝内科、膠原病内科は外来のみとなっていますが、当院が基幹病院として、近隣の病院に連携施設となってもらい専門医を養成します。

募集診療科	選考方法
内科：基幹施設 小児科：連携施設(筑波大学、新潟大学) 産婦人科：連携施設(筑波大学) 皮膚科：連携施設(筑波大学) 眼科：連携施設(筑波大学) 泌尿器科：連携施設(筑波大学) 整形外科：連携施設(筑波大学、新潟大学) 脳外科：連携施設(筑波大学) 形成外科：連携施設(筑波大学) 救急科：連携施設(筑波大学、筑波メディカルセンター病院)	書類選考 および 面接

病院からメッセージ



臨床研修センター長（循環器内科）
研修責任者

千葉 義郎

初期研修の2年間は医学生の時とは異なり、「自分の興味や関心が何なのか?」「自分の医師としての役割は何なのか?」を真剣に探る時期と言ってよいのではないかと思います。

当院は救急から緩和医療、小児科、周産期と幅広くバランスのとれた医療を提供しています。また基幹型の内科専門プログラムを有しており、幅広い経験を通して自分の適性を見極め、1日も早く独り立ちしたい、臨床の現場でバリバリ活躍したい、と思っているあなたに絶好のチャンスを提供できる病院です。



研修医
逆井 拓実

3月まで医学生だった皆さんが、4月から研修医として病棟業務や救急対応・外来などに臨むのはハードルが高いと、誰しもが感じると思います。私もそうでした。しかし、指導医の先生方の丁寧かつ熱心なご指導もあり、研修するにつれてできることが次々に増えてきたのを実感しています。また、医療スタッフの方々も親切で雰囲気の良い病院だなと感じています。

研修医は1学年10人いるので、少なすぎて過度に忙しすぎることなく、また多すぎて仕事が回ってこないこともないと思います。時にまじめに、時に談笑して和気藹々としています。

当院はブログやinstagramもあります。研修医の様子が垣間見えるかと思うので是非ご覧ください。



独立行政法人国立病院機構

04 水戸医療センター

病院の概要

開設 | 2004 年 4 月 1 日
開設者 | 独立行政法人国立病院機構
院長名 | 米野 琢哉
病床数 | 500 床
標榜科 (34 科) | 内科、精神科、心療内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、臓器移植外科、内視鏡外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、救急科、麻酔科、病理診断科、腎臓内科、緩和ケア内科

医師数 | 94 人 (R4.12.1 現在)
指導医数 | 42 人 (R4.12.1 現在)

研修医の主な出身大学 | 秋田大学、岩手医科大学、杏林大学、順天堂大学、筑波大学、東京医科大学、獨協医科大学、三重大学、産業医科大学

外来患者数 | 676.9 人 / 日 (R4.4~12 実績)
入院患者数 | 344.8 人 / 日 (R4.4~12 実績)

募集要項

応募資格 | 2024 年 3 月国家試験合格見込者
採用人数 | 9 名 (予定)
試験日程 | 2023 年 7 月~8 月 (予定)
選考方法 | 面接および小論文

処遇 | ■ 身分: 国立病院機構期間職員
■ 給与: 1 年次基本給 338,640 円
その他諸手当等を含む年収約 553 万円 (時間外勤務手当は別途支給)
2 年次基本給 392,848 円
その他諸手当等を含む年収約 618 万円 (時間外勤務手当は別途支給)
■ 社会保険: 有り
■ 宿舎: 研修医宿舎 (単身用・世帯用)
■ その他: 健康診断 (年 2 回)

病院見学対応状況

■ 見学時間…随時 (平日)
■ 対象…5~6 年生
■ 宿泊…可能 (無料) 院内施設に宿泊可能
■ 問い合わせ先…担当者: 教育研修部 事務担当
TEL: 029-240-7711
E-mail: 200-mmckensyu@mail.hosp.go.jp

女性医師支援

当院では、産前・産後休暇、生理休暇、育児休業・育児短時間休業、育児時間制度等があり、仕事と子育ての両立に取り組んでいます。また、セクハラ・パワハラに対しては相談窓口を設けて対応しております。



応募・問合せ先

独立行政法人国立病院機構
水戸医療センター
東茨城郡茨城町桜の郷 280 番地
担当者: 管理課職員係
200-sy01@mail.hosp.go.jp
教育研修部長 小泉 智三
TEL: 029-240-7711
FAX: 029-240-7788
URL: http://mito.hosp.go.jp/



Guide Map



Access

①JR水戸駅→桜の郷 [バスで約30分]
②JR赤塚駅→桜の郷 [バスで約30分]
③常磐自動車道水戸IC.→桜の郷 [車で約20分]
④北関東自動車道茨城町西IC.→桜の郷 [車で約10分]
〒311-9193 茨城県東茨城郡茨城町桜の郷280番地
TEL 029-240-7711 FAX 029-240-7788

研修プログラムの特色

将来の専門性にかかわらず、日常生活で頻繁に遭遇する疾患や病態に適切に対応できるようにするため、診療科毎の垣根がない総合診療施設としての機能を活用して、社会の枠組みの中で医療に携わるチームの一員としての見識を持ち、患者の多様なニーズに対して全人的対応のできる、幅広い知識と応用力と技能および態度を身につける。

研修スケジュール例 (個人毎に作成します)

1 年次	内科 (24 週) 一般外来並行研修20日以上				救急部門 12 週	麻酔科 4 週	外科 8 週	調整週 4 週
2 年次	地域医療 4 週	産婦人科 4 週	精神科 4 週	小児科 4 週	選択科 (調整週含む) 36 週			

選択科: 内科: 循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、精神科、腎臓内科、小児科、放射線科、外科、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、麻酔科、病理 (当院または協力病院)

専門研修の募集について

応募期間、プログラム登録等については日本専門医機構の HP を確認してください。
当院への応募書類提出と合わせて各基本領域学会への ID 登録を行ってください。

募集診療科	選考方法
内科、外科	書類選考および面接

研修・認定施設一覧

- ・日本専門機構内科専門研修プログラム基幹病院
- ・日本外科学会専門医制度修練施設
- ・日本救急医学会専門医指定施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修施設
- ・日本血液学会血液研修施設
- ・日本循環器学会専門医研修施設
- ・日本神経学会専門医准教育関連施設
- ・日本消化器病学会専門医認定施設
- ・日本脳神経血管内治療学会専門医研修施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本整形外科学会研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本病理学会病理専門医研修認定施設 B
- ・日本がん治療認定医研修施設
- ・心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本精神神経学会精神科専門医研修施設
- ・日本透析医学会専門医認定施設
- ・日本アレルギー学会教育施設 (呼吸器科)
- ・日本航空医療学会
- ・茨城県肝疾患専門医療機関
- ・DMAT 指定医療機関
- ・地域医療支援病院
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・日本臓器移植ネットワーク腎臓移植認定施設
- ・日本IVR学会専門医修練施設 ほか

病院からメッセージ



研修責任者
小泉 智三 教育研修部長
(専門: 循環器内科)

当院では3次救命救急センターを備えており、内科系、外科系ともに同センターに対応しております。また、がん拠点病院でもあり、内科と外科のバランスが良くとれています。スタッフには多くの専門医を擁し、高い専門性と実践性に基づいた初期研修プログラムが用意されており、やる気のある研修医には魅力的な病院であると自負しております。また、将来を見据えた選択性と自由度の高さは当院の初期研修プログラムの特徴の一つであり、雰囲気も良く楽しい研修をする大きな要素と考えております。多くの方の応募をお待ちしています。



研修医
高瀬 千尋

3次救急であるため重症、外傷の患者さんを診ることができ、ドクターヘリも経験できます。

外科と救急科の色が強い印象の病院ですがメジャーな内科は全て揃っており急性期から慢性期まで、多くの症例を学ぶことができます。どの科の先生も質問しやすく、丁寧なフィードバックもしっかりあり、学びの充実度はもちろん、働きやすさも特徴です。
研修医同士も仲がよく、研修医室の居心地もとても良いです。是非一度見学に来て当院の雰囲気を体感してみてください。お待ちしております。



筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター

茨城県立中央病院

病院の概要

開設	1956年1月
開設者	茨城県
院長名	島居 徹
病床数	500床（一般475床、結核25床）
標榜科 (36科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、循環器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、歯科口腔外科

医師数 170人

指導医数 74人

研修医数 27人

研修医の主な出身大学
自治医大、筑波大、東大、旭川医大、弘前大、秋田大、千葉大、東京医科歯科大、富山大、山梨大、山口大、香川大、愛媛大、福島県立医大、岩手医大、獨協医大、杏林大、帝京大、東京医大

外来患者数 951人

入院患者数 316人

募集要項

- 応募資格
・2023年度第118回医師国家試験に合格見込みの方
・既に医籍登録され臨床研修を未実施の方。
- 採用人数 13名（見込み）
- 試験日程
当院のホームページ等でご確認ください。
<http://www.i-kenshu.jp/>
- 選考方法 筆記試験、面接試験
- 処遇
■身分：茨城県病院局会計年度任用職員
■給与：1年次基本給303,300円
その他諸手当等を含む年収約670万円
(宿直研修以外の時間外勤務手当を除く)
2年次基本給337,700円
その他諸手当等を含む年収約690万円
(宿直研修以外の時間外勤務手当を除く)
■社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
■宿舍：民間アパートを借り上げて貸与
(茨城県病院局代用公舎制度)一部本人負担あり
■その他：

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…敷地内宿直室利用可（応相談）
- 問い合わせ先…担当者：臨床研修センター
井川、鶴井、鴻巣
TEL：0296-77-1121（代表）
E-mail：kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp



応募・問合せ先

筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター

茨城県立中央病院

臨床研修センター事務局 田口・鶴井
〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528
TEL：0296-77-1121
FAX：0296-77-2886
E-mail：kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp
URL：http://www.i-kenshu.jp/



- JR常磐線 ■JR水戸線
友部駅より 徒歩 20分
バス 5分
タクシー 5分
- 北関東自動車道 ■常磐自動車道
友部ICより約15分
水戸ICより約20分
友部SAスマートICより約10分（ETC専用）

女性医師支援

女性医師の活躍の場はますます増加しており、女性専用の仮眠室やシャワー室が設置されているほか、妊娠中や育児中の宿日直研修の免除をはじめ、多様な女性医師支援の取り組みがされています。なお、院内保育園（24時間保育）を活用した育児と臨床研修の両立も可能です。



ひまわり保育園（24時間保育可）

研修プログラムの特色

- 1 研修医の意志を尊重し、プログラムの自由度を最大限高めることを基本として、研修意欲を引き出す内容としています。
- 2 各研修分野間の垣根が無く、また、各分野とも優れた専門医が在籍し「将来を見据えた」指導を行える体制が整っています。
- 3 自治医大、筑波大、東大から毎年研修医を受け入れ、多様性のある、オープンな雰囲気の中臨床研修に臨めます。

研修スケジュール例

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科（6）						外科（2）		※			
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療・一般外来		精神科（1）	※		※	※		※			

※予め希望を調査のうえ、次から決定します。

必修科目（救急分野2M、小児科1M又は2M、産婦人科1M）、自由選択科目（必修科目を含む院内外の研修科目。詳細は研修プログラムを参照）
ただし、1年次は院内研修のみとし、2年次の院外研修は必修科を含めて6Mまでです。

専門研修の募集について

現在、内科及び外科の基幹施設に認定され、専攻医を募集しているほか、他基幹施設の連携施設としても専攻医を受け入れています。
詳細は当院のホームページをご確認ください。

研修・認定施設一覧

- ・専門研修関係（平成30年度以降研修開始）
基幹施設
内科専門研修プログラム基幹施設 外科専門研修プログラム基幹施設
連携施設
内科専門研修プログラム連携施設
（基幹：水戸協同病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、ひたちなか総合病院、筑波大学附属病院、東京女子医科大学病院、東京医科大学茨城医療センター）
外科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院、防衛医科大学校病院、東京大学医学部附属病院、昭和大学病院、杏林大学医学部附属病院）
産婦人科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
小児科専門研修プログラム関連施設
（基幹：筑波大学附属病院、茨城県立こども病院）
耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
泌尿器科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院、国際医療福祉大学病院）
病理科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院、東京大学医学部附属病院）
救急科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院）
形成外科専門研修プログラム関連施設
（基幹：筑波大学附属病院）
リハビリテーション科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
皮膚科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
整形外科専門研修プログラム連携施設
（基幹：東京大学医学部附属病院）
放射線科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
眼科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
脳神経外科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
麻酔科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
- ・後期研修関係（平成29年度以前研修開始）
日本内科学会認定内科認定医教育病院
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練機関
日本脳神経外科学会専門医認定制度訓練施設(A)

- 日本整形外科学会認定専門医制度研修施設
日本形成外科学会教育関連施設
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本麻酔学会麻酔科認定病院
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本病理学会病理専門医制度認定病院B

・サブスペシャルティ領域専門医

- 日本リウマチ学会認定施設
日本消化器病学会認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本血液学会血液研修施設
日本神経内科学会准教育施設
日本腎臓学会研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本肝臓学会認定施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連認定施設
日本消化器外科学会認定専門医修練施設
日本周産期・新生児医学会暫定研修認定施設
呼吸器外科専門医認定機構認定基幹施設
日本集中治療医学会専門医研修認定施設
日本婦人科腫瘍学会指定修練施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本核医学会専門医教育病院
日本乳癌学会認定医専門医制度関連施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設
日本肝臓外科学会認定高度技能医修練施設A
日本食道学会全国登録認定施設
日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本脈管学会認定研修指定施設
日本透析医学会専門医制度教育関連施設
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度指定研修施設
日本放射線腫瘍学会認定協力施設
日本IVR学会専門医修練認定施設
日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設
臨床遺伝専門医制度研修施設
日本病院総合診療医学会認定施設
遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設

・その他施設

- JCOG婦人科腫瘍グループ参加施設
JCOG肺がん外科グループ参加施設
JCOG消化器内視鏡グループ参加施設
JCOG食道がんグループ参加施設
JCOG乳がんグループ参加施設

・その他

- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設

病院からメッセージ



研修管理委員長

小島 寛 副病院長

当院の初期研修では、総合診療、プライマリ・ケア、救急対応の基本的な知識・技能が身につくことを目標にし、上級医によるマンツーマンの指導が行われています。初期研修の2年間は医師としての基礎を築く重要な時期ですが、当院では、やる気さえあれば多くの症例を経験することができ、またカンファレンス、レジデント・レクチャー等様々な教育プログラムが用意されていますので、同時に考える力を養うこともできます。他の施設、特に大学病院では経験できない素晴らしい研修の機会がここには用意されています。2年間の研修で、今後の医師としてのキャリアの基礎になる真の実力、高い現場対応能力を養いましょう。



研修医 矢花 信亜

2021年4月から臨床研修を開始し、はや2年が経とうとしています。私が茨城県立中央病院を知ったのは、新型コロナウイルス感染症の流行が社会問題となり始めた2020年の2月頃です。当時、秋田大学に在学中に茨城県内の医療機関情報がほぼないなか、腫瘍内科を持つ臨床研修病院を探した末、当院に辿り着きました。早速、腫瘍内科を見学した際、外来患者の付き添いで来院していた患者家族の「なかなか禁煙できない」という悩みに対して、患者の主治医がその場で禁煙外来の担当医師に相談し、いち早く禁煙指導が始まる場面を目の当たりにして、学生ながら並々ならぬ衝撃を受けました。この2年を振り返ってみても、このように診療科間の垣根が低く様々な診療科の先生方に直ぐに相談でき、また、病院職員が一丸となって臨床研修を支えている当院の気風は、非常に恵まれたものであったと感じています。疑問や不安、発見などを同期と赤裸々に共有し合い、時には批評し合い合う、そんな雰囲気は根付いていることにも助けられました。修了後の私は、内科専攻医として引き続き当院で専門研修を行う予定ですが、いずれは腫瘍内科医としてがん診療に携わることを目指しています。ぜひ、病院見学にお越しいただき、言葉では言い表せない雰囲気を感じ取ってみてください。一同お待ちしております。



筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター

株式会社日立製作所 日立総合病院

病院の概要

開設 | 1938年1月

開設者 | 株式会社日立製作所

院長名 | 渡辺 泰徳

病床数 | 611床

標榜科 (34科) | 内科、消化器内科、呼吸器内科、血液・腫瘍内科、代謝・内分泌内科、循環器内科、腎臓内科、精神科、神経内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺・甲状腺外科、泌尿器科、整形外科、形成外科、脳神経外科、小児科、小児外科、新生児科、産婦人科、皮膚科、耳鼻いんこう科、眼科、リハビリテーション科、放射線診療科、放射線腫瘍科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科、歯科口腔外科

医師数 | 142人

指導医数 | 47人

研修医の主な出身大学 | 筑波大学、福島県立医科大学、岩手医科大学、東海大学、東京大学、東京医科大学、東北大学、千葉大学、福井大学、宮崎大学、獨協医科大学

外来患者数 | 970人 / 日 (令和4年実績)

入院患者数 | 473人 / 日 (令和4年実績)
※現在は540床で稼働中

募集要項

応募資格 | 2024年3月国家試験合格見込者

採用人数 | 12名 (予定)

試験日程 | 2023年7月～9月

選考方法 | 面接

処遇 | ■身分：医師有期契約社員
■給与：1年次基本給40万円
その他諸手当等を含む年収約550万円
2年次基本給41万円
その他諸手当等を含む年収約670万円
■社会保険：有り
■宿舎：有り
■その他：時間外勤務手当、宿日直手当、呼出手当等有

病院見学対応状況

- 見学時間…随時 (平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先…担当者：臨床研修管理室 柴田
TEL：0294-23-1111 (内線 8800)
E-mail：rinsyokensyuiyo.nichibyo.pv@hitachi.com



応募・問合せ先

筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター
株式会社日立製作所 日立総合病院

〒317-0077 茨城県日立市城南町二丁目1番1号
担当者：臨床研修管理室 柴田 (内線8800)
TEL：0294-23-1111 (代)
FAX：0294-23-8414
E-mail：rinsyokensyuiyo.nichibyo.pv@hitachi.com
URL：http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachi/



■JR常磐線日立駅中央口より 車で10分
バスで15分
徒歩で25分

■常磐自動車道日立中央I.C.より 車で10分

その他の特色

- 出産・育児休暇有
- 育児のための短時間勤務等の制度
- 院内保育園完備 (病児保育にも対応)
- 医師専用食堂有
- 医療専用図書有 (24hr利用可)
- 論文投稿・学会発表に係る費用補助

研修プログラムの特色

日本救急医学会専門医指定施設、地域災害医療センターとして茨城県北部の救急医療を担っています。令和4年実績：救急車搬送台数 6,303 台 / 年、救急患者数 19,655 人 / 年という実績が示す通り救急患者の受入も多く第三次救急体制での救急医療を学びたい方にもお勧めです。また、当院は、茨城県地域がんセンターを併設し、高度医療を担っています。各学会の専門医指定施設で熱心な指導医らの質の高い医療を学ぶことが可能です。その他、健診施設 (PET 健診、人間ドック、脳ドック) や産業医療施設、地域医療施設と連携しており、将来予防医学、産業医活動、家庭医などを志す方にもお勧めです。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急総合診療科			外科	麻酔科	
2年次	地域医療	選択科*							精神科	小児科	産婦人科	

*選択科は、「内科」「外科」「小児科」「心臓血管外科」「形成外科」「麻酔科」「産婦人科」「放射線診療科」「救急総合診療科」「地域医療」「脳神経外科」「眼科」「皮膚科」「泌尿器科」「整形外科」「耳鼻いんこう科」より選択 (組合せ自由)

専門研修の募集について

当院では以下診療科の専門研修プログラムがあります。
詳細については当院ホームページ「職員募集」をご確認願います。

募集診療科	選考方法
内科、外科	面接

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定内科専門医教育病院
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ・日本消化器病学会認定医制度認定施設
- ・日本透析医学会認定医制度教育関連施設
- ・日本腎臓学会専門医制度研修施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本血液学会認定研修施設
- ・日本神経学会認定教育施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- ・日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医制度教育施設
- ・日本小児科学会専門医制度研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医認定制度訓練施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本形成外科学会認定医制度研修施設
- ・日本麻酔学会指導病院
- ・日本医学放射線学会専門医研修協力機関
- ・日本老年医学会認定専門医制度認定施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ・日本がん治療学会認定研修施設
- ・日本乳癌学会認定施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本静脈経腸栄養学会実施修練認定教育施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本総合健診医学会専門医研修施設
- ・日本輸血・細胞治療学会 I&A 認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
- ・日本糖尿病学会教育関連施設
- ・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
- ・日本腎臓財団臨床実習施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本認知症学会認定教育施設
- ・日本内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医補完研修施設
- ・日本産婦人科学会専門医研修連携施設
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本IVR学会専門医修練施設
- ・日本放射線腫瘍学会認定施設
- ・日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設

病院からメッセージ



研修責任者
藤田 恒夫 副院長兼臨床研修センター長

今や、医師は単に専門分野の疾患を治療するのみでなく、患者、家族の抱える様々な身体的、心理的、社会的問題も的確に認識・判断し、医療チームの中で治療、看護、介護サービス等種々の方策を総合的に組織・管理し、問題解決を図る能力を備えることが求められています。従って、専門分野のみならず、患者を全人的に診る能力を全ての医師が身に付けるための臨床研修マネジメントを行い、将来の医療の質を向上させることができればと願っています。



臨床研修医 (2年目)
大谷 光

当院の魅力は、多くの診療科が揃っており、診療設備も充実している点です。幅広い診療科のcommon disease診療から高度医療まで経験することができ、また、各科の診療の垣根が低く、他科の先生に相談しやすい環境があるので、複数の併存疾患を持つ患者様にも対応できる実践的な診療能力が身に付きます。さらに、熱心な指導医の先生方にも恵まれていますので、主体的に診療に参加することができ、手技の機会も豊富です。
管理型以外にも大学病院や他の市中病院のたすき掛けの初期研修医もいますので、常に15人程度の同期がいます。研修医室は和気あいあいと雰囲気は良く、診療の疑問点を相談しあったりと良い刺激ももらえています。是非一度当院の雰囲気見に見学にいらしてください。



07

筑波大学附属病院 ひたちなか社会連携教育研究センター

株式会社日立製作所ひたちなか総合病院

病院の概要

開設 | 1959年2月

開設者 | 株式会社日立製作所

院長名 | 吉井 慎一

病床数 | 302床

標榜科 (34科) | 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病内科、代謝内科、内分泌内科、心療内科、感染症内科、老年内科、腎臓内科、小児科、外科、心血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科、アレルギー科、精神科、児童精神科、リウマチ科、リハビリテーション科、歯科口腔外科

医師数 | 89人

指導医数 | 39人

研修医数 | 22人

研修医の主な出身大学 | 筑波大学、東京医科歯科大学、日本医科大学、東京医科大学、千葉大学、山口大学、秋田大学、杏林大学、産業医科大学、新潟大学、山梨大学、琉球大学、弘前大学、慶応義塾大学、福島県立医科大学、長崎大学、神戸大学、鳥取大学、福井大学、帝京大学、東海大学、旭川医科大学、信州大学、久留米大学、山形大学、群馬大学、高知大学、埼玉医科大学

外来患者数 | 約 589.8人 / 日

入院患者数 | 約 253.0人 / 日

募集要項

応募資格 | 2024年3月医師国家試験合格見込者

採用人数 | 8名

試験日程 | 2023年7月末から9月（詳細未定）

選考方法 | 面接、小論文

処遇 | ■身分：医師有期契約社員
■給与：1年次基本給40万円 その他諸手当等を含む年収約550万円
2年次基本給41万円 その他諸手当等を含む年収約670万円
■社会保険：有り
■宿舎：有り
■その他：時間外勤務手当、宿日直手当、呼出手当等有

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…4～6年生
- 宿泊…院内施設に宿泊可能 ※場合により近隣宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先…担当者：教育・研修センター 上村、吉川
TEL：029-354-5709
E-mail：saiyou.nakabyo.op@hitachi.com



応募・問合せ先

筑波大学附属病院 ひたちなか社会連携教育研究センター
株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院

〒312-0057 茨城県ひたちなか市石川町20番1
担当者：教育・研修センター 上村、吉川
TEL：029-354-5709（直通）
FAX：029-354-6842
E-mail：saiyou.nakabyo.op@hitachi.com
URL：http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html



■JR常磐線勝田駅から徒歩10分

女性医師支援

実際に子育てをしながら働いている女性医師もあり、院内保育所（24時間365日病児・病後児保育）の設置や短時間勤務制度もあり、女性医師の働きやすい環境整備に努めております。院内保育所の見学も実施しておりますので、是非当院へお越しください。

研修プログラムの特色

1. 研修医自らが積極的に学べるように、自主性を尊重するプログラムです。
2. オープンな医局で、各専門科の垣根が低く、様々なことを並行して学べます。
3. 研修医のモチベーションに応じて、手技も豊富です。
4. 基幹型以外にも筑波大学、東京医科歯科大学等からの協力型研修医がいて、お互いに刺激し合いながら研修できます。

研修スケジュール例

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急	外科		選択科		
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科	精神科	産婦人科	地域医療	救急	小児科	選択科					

※1 必修：内科・救急・外科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療（2年次研修）

※2 選択科：内科（専門科）・麻酔科・外科・小児科・整形外科・泌尿器科・放射線科・放射線治療科・耳鼻咽喉科・形成外科・病理・皮膚科・リハビリテーション科・その他院外協力病院

※3 精神科・産婦人科・地域医療は院外研修

※4 一般外来4週以上 ※5 ローテーションは順不同

専門研修の募集について

当院は、内科の専門研修プログラムを有しています。

内科は各専門科の連携が緊密で、垣根が低く症例が多いのが特徴です。

応募時期については、専門医機構のスケジュールに準じます。

研修・認定施設一覧

- ・基幹型臨床研修指定病院
- ・筑波大学附属病院協力型臨床研修病院
- ・東京医科歯科大学病院協力型臨床研修病院
- ・日本医科大学付属病院協力型臨床研修病院
- ・日本内科学会認定教育病院
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本心臓インターベンション治療学会施設群連携施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本胸部外科学会認定医関連施設
- ・日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設（呼吸器外科専門医合同委員会 認定修練施設（関連））
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器病学会関連施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導連携施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本神経学会准教育施設
- ・日本認知症学会教育施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本整形外科学会認定研修施設
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本小児神経学会小児神経専門医修練施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本透析医学会教育関連施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本リハビリテーション医学会認定研修施設
- ・日本病態栄養学会栄養管理・NST実施施設
- ・茨城県指定地域リハ・ステーション
- ・日本総合健診医学会優良施設
- ・日本病院会（人間ドック）優良施設
- ・県央スポーツ医科学センター
- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医連教育研修施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
- ・日本癌治療学会認定がん医療ネットワークナビゲーター認定研修施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本放射線腫瘍学会認定施設
- ・日本病態栄養学会・日本栄養士会認定がん病態栄養専門管理栄養士研修実地 修練施設

病院からメッセージ



研修責任者
山内 孝義 副院長

当院はひたちなか市唯一の総合病院で、2010年にリニューアルオープンした先進的病院ですが、研修の歴史は古く、延べ200名以上の初期研修医が研修しました。各科の連携が緊密かつ垣根が低い事が当院の文化で、様々な科の指導医と交流できます。特徴は、1、中規模病院で全体像が見えやすい。2、手技が多く、参加しやすい。3、日本で最初にISO9001:2000を取得し、チーム医療を推進。4、筑波大学の社会連携教育研究センターが設置されている。5、企業立病院。6、筑波大学、東京医科歯科大学等多くの病院で院外研修可能。などです。研修目標は、患者状態を的確に把握し、相手に伝えられる（コミュニケーションできる）医療プロフェッショナルになる事です。主体的に学ぶ姿勢を身に付け、一緒に成長しましょう。



研修医
小林 大輝

当院の研修の良いところは、自分で学んでいきたいという気持ちを十分に生かしてくれる環境があることだと思います。当院は人口約15万人のひたちなか市内で唯一の急性期病院であり、豊富な症例が集まってきます。その一方で、研修内容は比較的余裕のあるシステムになっているため、経験したい症例や手技に携われる機会が多く、オーダーメイドな研修内容にすることが可能です。勉強会も充実しており、臨床推論カンファやレジデントレクチャーなどが定期的に開催されています。加えて、当院では垣根の低さということを売りとしています。医局がワンフロアで統一されており、様々な診療科の先生と、症例の相談から雑談まで、とても身近に接することができます。そんな当院の雰囲気ぜひ病院見学で見に来てください、お待ちしております。



08 総合病院 土浦協同病院

病院の概要

開設	1948年8月
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	河内 敏行
病床数	800 床
標榜科 (32科)	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、代謝・内分泌内科、リウマチ科、脳神経内科、小児科、新生児科、消化器外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、救急科、病理診断科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科
医師数	255人
指導医数	67人
研修医数	40人（基幹型30人、協力型10人）
研修医の主な 出身大学	東京医科歯科大学、筑波大学、弘前大学、順天堂大学、旭川医科大学、山形大学、日本医科大学、浜松医科大学 他

外来患者数 | 1811人/日

入院患者数 | 507人/日

募集要項

応募資格	2024年3月国家試験合格見込者
採用人数	15名（予定）
試験日程	2023年8月頃（予定）
選考方法	面接試験・小論文
処遇	■身分：常勤医師 ■給与：1年次基本給30万円 その他諸手当を含む年収約540万円（時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給35万円 その他諸手当を含む年収約705万円（時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：有り ■宿舎：有り ■その他：

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…研修医宿舎に宿泊可能（無料）※事前申込み必要
- 問い合わせ先
担当者：担当者：庶務課 小泉・田中
TEL：029-830-3711
E-mail：rinken@tkgh.jp



応募・問合せ先

総合病院 土浦協同病院

〒300-0028 茨城県土浦市おつ野4丁目1番1号
担当者：庶務課 小泉・田中
TEL：029-830-3711
FAX：029-846-3721
E-mail：rinken@tkgh.jp
URL：http://www.tkgh.jp/



■JR常磐線 土浦駅より	タクシー約12分 バス約25分
■常磐自動車道 土浦北ICより	約15分
桜土浦ICより	約25分

女性医師支援

当院では、女性医師支援対策として、妊娠・育児中の当直免除、時短勤務などキャリアを中断することなく研修、勤務ができる附属保育所では24時間年中無休で保育をおこなっており、安心して勤務することが可能です。その他、女性専用当直センターなど充実したアメニティーを有し、育児中のみならず、女性が安心して働ける環境が整っています。また、フォスタードクター制度など先輩医師に気兼ねなく相談できる体制作りにも努めています。



研修プログラムの特色

- 救命救急の医療から老人医療や在宅ケアなどを含む総合保険医療まで、幅広く実践している当院ならびに連携施設での2年間の臨床実習を通して基本的知識・技術・態度を修得し、病み・悩める人の全体像を捉える全人的医療を身につけることを目的とする。
- 研修後、総合診療医あるいは専門医になるかの希望進路を勘案して、面談を通して研修プログラム内容を柔軟性をもって計画できる体制を準備している。

研修スケジュール例

当院では研修医の希望に合わせてプログラムを組むことができ、様々なパターンのプログラムを作成・研修できる。

・必修科目優先で研修する一例

1年次	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
	内科						外科		救急部門		自由選択		
2年次	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択								

・将来の専門分野をはじめに研修する一例（ex.小児・産婦人科希望の場合）

	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
1年次	小児科		産婦人科		救急部門		自由選択			内科			
2年次	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
	地域医療	精神科	外科		内科		自由選択						

※救急部門については、自由選択の期間中に週1回の並行研修を当直にて20日以上行う8週のブロック研修期間中、4週を上乗せして、麻酔科研修を救急の研修期間とすることができる。 ※一般外来4週以上を含む。
※地域枠対応プログラムとして、1年次に1年間、茨城県立中央病院、ひたちなか総合病院、日立総合病院のいずれかでたすきがけ研修可能。選定あり。
※当院プログラムの詳細は、当院HPをご確認ください。

専門研修の募集について

新専門医制度にて基幹施設として右記6診療科の専門研修プログラムを運用しています。それぞれのプログラムでは、症例の豊富な当院での研修をベースに、連携施設の県内外の大学・病院をローテーションする充実した研修を用意しています。詳細は HP をご覧ください。
※6診療科以外は、筑波大学や東京医科歯科大学の連携施設として研修をお受けしています。

研修・認定施設一覧

・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設 ・日本神経学会専門医制度教育施設 ・日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設 ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 ・日本脳神経血管内治療学会専門医制度研修施設 ・日本救急医学会救急救命専門医指定施設 ・日本血液学会認定血液研修施設 ・日本透析医学会専門医制度認定施設 ・日本消化器病学会専門医制度認定施設 ・日本がん治療認定医機構認定研修施設 ・日本ペインクリニック学会指定研修施設 ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設 ・日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設 ・日本消化器外科学会専門医修練施設 ・日本呼吸器学会認定施設 ・日本病理学会研修認定施設 B ・日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 ・日本整形外科学会専門医制度研修施設 ・日本眼科学会専門医制度研修施設 ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院 ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設 ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設 ・日本内科学会認定医制度教育病院	・日本腎臓学会研修施設 ・日本リハビリテーション医学会研修施設 ・日本心血管インターベンション治療学会研修施設 ・日本小児科学会小児科専門医制度研修施設 ・日本外科学会外科専門医制度修練施設 ・日本肝臓学会認定施設 ・日本手外科学会研修施設 ・呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度基幹施設 ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設 ・日本臨床細胞学会認定施設 ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度（母体・胎児）基幹施設 ・日本内分科学会内分泌代謝科認定教育施設 ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼動施設 ・日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定 規則実地修練認定教育施設 ・日本栄養療法推進協議会 NST 稼動施設 ・日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院 ・日本糖尿病学会認定教育施設 ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度（新生児）基幹施設 ・日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設 ・日本集中治療医学会専門医研修施設 ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設 ・日本小児神経学会小児神経専門医制度研修施設 ・日本放射線腫瘍学会認定施設	・日本小児外科学会専門医制度認定施設 ・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設 ・日本食道学会食道外科専門医認定施設 ・日本食道学会全国登録認定施設 ・日本小児科学会小児科専門医研修支援施設 ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設 ・日本肝臓学会認定肝胆脾外科高度技能専門医修練施設 B ・日本臨床細胞学会教育研修施設 ・日本リウマチ学会教育施設 ・関連 10 学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施施設 ・関連 10 学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設 ・日本脈管学会認定研修指定施設 ・日本高気圧環境・潜水医学会認定施設 ・日本 IVR 学会専門医修練施設 ・経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設 ・日本女性医学学会専門医制度認定研修施設 ・日本消化器外科学会連携施設（対象術式：腹腔鏡下肝切除術） ・日本臨床神経生理学会認定脳波分野準教育施設 ・日本形成外科学会認定施設 ・日本造血細胞移植学会非血縁者間造血細胞移植認定診療科（血液内科） ・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設 ・日本骨髄バンク日本造血細胞移植学会非血縁者間骨髄採取認定施設 ・日本循環器学会認定左心耳閉鎖システム実施施設 ・日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター（PSC）
---	--	---

病院からメッセージ



研修責任者
渡辺 章充 副院長

土浦協同病院での臨床研修をお勧めします。
公募研修医 15名、東京医科歯科大学・筑波大学の枠が数名ずつ、2学年合わせて約 40名の臨床研修医が、土浦協同病院で豊かな熱い臨床研修をしています。彼らは、毎年、研修スタート時とは見違えるような、実力と自信を付けて、次のステップへ旅立っていきます。広い医療圏から様々な患者さんたちが来院し、その患者さんとの出会いが、研修医達の臨床力・判断力・持続力と医療人の素養を高めてくれます。指導医は、東京医科歯科大学・筑波大学を中心とする、教育熱心で臨床力の優れた医師達です。看護師、薬剤師、リハビリテーション職、臨床検査技師、放射線技師、栄養士、等のコメディカルも、研修の大きな味方です。土浦協同病院での臨床研修をお勧めします。見学にいらしてください。



研修医
岩田 陽太

当院の初期研修では、地域の中核病院として多くの症例が集まり、幅広い症例を経験することができます。救急外来では積極的に研修医が初期診療に携わり、病棟でも多くの診療科のもとで多様な疾患を診ることが出来ます。上級医の先生方の手厚い指導のもと、医師としての基本的な診療技能を身につけられ、それを生かす機会の多い、恵まれた環境だと実感しています。日々新しい学びがあり、それが明日の診療に繋がる、充実した日々を過ごしています。また2学年で 40人程度の研修医が在籍しており、相談し合い、切磋琢磨できる多くの仲間がいることも魅力です。是非見学にいらして、地域の急性期医療を担う当院の雰囲気を感じていただけたらと思います。



独立行政法人国立病院機構

09 霞ヶ浦医療センター

病院の概要

開設	1945 年 12 月（2004 年 4 月）
開設者	独立行政法人国立病院機構
院長名	鈴木 祥司
病床数	250 床
標榜科 (26科)	内科、脳神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、腎臓内科、代謝内科、血液内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、乳腺外科

医師数	47人
指導医数	32人
研修医数	基幹型3人、協力型5人

研修医の主な 出身大学	山口大学、杏林大学、山形大学 等
----------------	------------------

外来患者数	548.8人/日
入院患者数	159.7人/日

募集要項

応募資格	2024年3月国家試験合格見込み者
採用人数	3名（予定）
試験日程	2023年7月ごろ
選考方法	面接
処遇	■身 分：常勤嘱託 ■給 与：1年次基本給384,500円 その他諸手当等を含む年収約610万円 （時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給384,500円 その他諸手当等を含む年収約610万円 （時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：有り ■宿 舎：貸与可能（家賃月額5,300円程度） ■その他：

病院見学対応状況

- 見学時間…随時
- 対象…全学年
- 宿泊…可能※事前申込み要（無料）
- 問い合わせ先
担当者：管理課 庶務係長
TEL：029-822-5050
E-mail：201-recruit@mail.hosp.go.jp



応募・問合せ先

独立行政法人国立病院機構

霞ヶ浦医療センター

〒300-8585 土浦市下高津 2-7-14

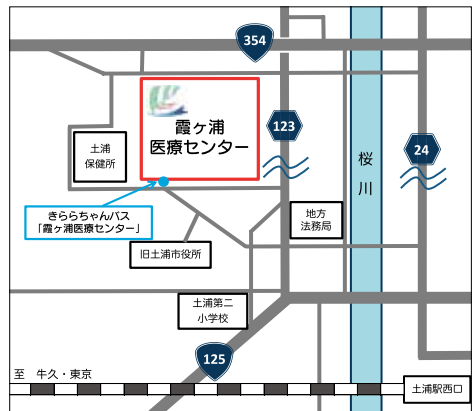
担当者：管理課 庶務係長

TEL：029-822-5050

FAX：029-824-0494

E-mail：201-recruit@mail.hosp.go.jp

URL：http://kasumigauro.hosp.go.jp/



- JR常磐線 土浦駅西口下車
・キララちゃんバス Bコース：亀城公園循環（右回り）約5分
「霞ヶ浦医療センター」下車
- 自動車
・常磐高速自動車道 桜土浦インターから 約10分（4km）
・つくばセンターより 約15分（8.5km）

女性医師支援

- 敷地内の保育園（約 30,000 ～ 35,000 円/月）に優先的に入所できます。保育園は、事前申請すると午後8時まで無料で延長保育が可能です。義務教育開始までは、育児時間制度（2時間/日まで）も利用できます。
- 子育て中の女性医師も複数名在籍しており、毎年、育児時間や育児休業の取得実績もあります。子育て中でも子育て予定でも、霞ヶ浦医療センターは意欲のある女性医師を応援します！

研修プログラムの特色

- ①内科系では、循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・総合診療・脳神経内科で充実した研修が受けられます。また、総合診療で、外来研修を行っています。
- ②外科系では、一般外科・整形外科・産婦人科・泌尿器外科・形成外科・眼科などで多くの手術が行われ、症例に恵まれた研修が受けられます。
- ③地域医療では、近くの開業医さんのところで在宅医療を含めた研修を行っています。また、長年にわたり地域医療カンファレンスや他職種（開業医、薬剤師、訪問看護師、ケアマネ、市役所職員、介護施設職員など）合同で行われており、広い視野を得られます。
- ④中規模の市中病院なので、医師同士やコメディカルとの連携がスムーズで、ストレスなく一連の「病院業務」を学習できます。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科（循環器内科・呼吸器内科・消化器内科）							精神科 （土浦厚生病院）	内科（一般外来研修） （総合診療科・神経内科）	内科 （循環器内科・呼吸器内科・消化器内科）		
2年次	産婦人科		地域医療	外科		選択	小児科 （筑波メディカルセンター病院）	救急 （筑波メディカルセンター病院、水戸医療センター） 霞ヶ浦医療センターでの麻酔科研修4週含む			選択	

専門研修の募集について

専門研修については、当院の多くの診療科で専門研修連携施設としてプログラムに参加予定となっています。詳細が決定次第ホームページ等に掲載予定です。

研修・認定施設一覧

- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本内科学会認定教育関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本循環器学会循環器専門医研修関連施設
- ・日本糖尿病学会教育関連施設
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本泌尿器科学会認定専門医関連教育施設
- ・日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- ・日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設
- ・日本女性医学会専門医制度認定研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設

病院からメッセージ



院長
鈴木 祥司 病院長

当院のコンセプトは、臨床の各分野で頻度の高い基本的疾患・基本的手技を「見たことがある・判る」「触ったことがある・できる」研修医を育てることです。大学病院とは異なり、当院には特殊な疾患とともに、特殊ではないが重要な多くの疾患が集まっています。このような中で、確実に身になる素晴らしい研修・思い出に残る研修を経験させてあげたいと思っています。



研修責任者
福田 妙子 土浦市地域臨床教育センター部長

霞ヶ浦医療センターは、茨城県南部の市中病院で研修を希望される方に適した総合病院です。当院の特徴は、筑波大学の臨床教育センターがあるので大学教員による指導や充実した図書館機能を楽しむことができ、一般病院なのでコモン・ディージーズを多く経験できることという2つの長所があることです。また、国立病院機構の病院なので安定した処遇を受けられます。医局からは筑波山と霞ヶ浦の眺めを楽しめます。広大な敷地には樹木が茂り、医局はアットホームな雰囲気です。ぜひ霞ヶ浦医療センターで研修医生活をスタートしてみませんか。見学は随時受け付けています。



10 筑波記念病院

病院の概要

開設	1982 年 2 月
開設者	医療法人社団筑波記念会
管理者名	長澤 俊郎
病床数	487 床
標榜科 (30科)	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、 神経内科、糖尿病・内分泌代謝内科、アレルギー科、 リウマチ科、血液内科、外科、脳神経外科、 心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、 整形外科、形成外科、小児科、婦人科、 精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、 病理診断科、救急科、美容皮膚科
医師数	96 人
指導医数	45 人
研修医数	初期臨床研修医 14 名 (1 年目 7 名・2 年目 7 名)
研修医の主な 出身大学	筑波大学、旭川医科大学、弘前大学、岩手医科大学、 慶應義塾大学、山梨大学、信州大学、宮崎大学、 琉球大学、チェコ医大、ハンガリー医大

外来患者数 | 597 人／日

入院患者数 | 402 人／日

募集要項

応募資格	医学部、医科大学を卒業または見込みの者、 医師免許を有する者
採用人数	10 名
試験日程	2023 年 8 月
選考方法	面接、筆記試験、小論文
処遇	■身 分：常勤医師 ■給 与：1 年次基本給 35 万円 その他諸手当を含む年収約 500 万円 2 年次基本給 40 万円 その他諸手当を含む年収約 600 万円 ■社会保険：有り ■宿 舎：利用可能 ■その他：当直：3～4 回／月

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…院内の施設宿泊可能（無料）
- オンライン説明（応相談）
- 問い合わせ先
担当者：リクルートセンター
臨床研修担当 増井、栗山
TEL：029-864-6860
E-mail：recruit@tsukuba-kinen.or.jp



応募・問合せ先

筑波記念病院

〒300-2622 茨城県つくば市 1187-299
担当者：リクルートセンター 増井、栗山
TEL：029-864-6860
FAX：029-864-8135
E-mail：recruit@tsukuba-kinen.or.jp
URL：https://tsukuba-kinen.or.jp/



■つくばエクスプレス
「つくば駅」下車
駅から病院までは
タクシー（10 分）

※つくば駅に隣接の
つくばセンターから
は、当院無料送迎バ
スもご利用になれま
す。但し、運行時間
8:10～17:30
日曜・祝日・年末年
始は休休です。

〈詳細はお問い合わせ
ください〉

女性医師支援

院内保育所の設置。（24 時間対応）
妊娠中・育児中の当直免除。
安心して働ける職場づくりを
目指して取り組んでいます。
女性の研修医も
歓迎いたします。
是非一度見学に
来てください。



研修プログラムの特色

- 1) 地域第一線急性期病院ならではの豊富な症例に基づく、プライマリケアと専門分野との一貫した研修を目標に、基本必修科目に加え自由度に富んだ選択科目によりプログラムを構成し、年間を通じ救急症例を経験する。
- 2) 当院は急性期医療のみならず、予防医療、慢性期医療、リハビリ、老人保健施設、介護在宅医療などを包括する自己完結型医療施設を構築しており、幅広い臨床研修が可能である。

研修スケジュール例

1 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	内 科						救 急			(病院必修) 麻酔科	外科	(病院必修) 外科
2 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	産婦人科	精神科	小児科	地域医療	選 択							

<必修> 内科・救急・地域医療・外科・産婦・精神・小児・一般外来研修
内科（24 週）：循環・消化・血内・代内・呼内より選択
救急（12 週）：当院救急科で研修
地域医療（4 週）：筑波総合クリニック研修に加え、介護老人保健施設・健康増進施設・在宅医療機関で研修
外科（4 週）：消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科より選択
産婦（4 週）：大学病院・市民病院より選択
精神（4 週）：大学病院・市民病院より選択
小児（4 週）：大学病院・市民病院より選択
一般外来研修（4 週）：並行研修またはブロック研修

<病院が定める必修> 外科・麻酔
外科（4 週）：消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・整形外科・脳神経外科より選択
麻酔（4 週）：当院麻酔科で研修

<選択>
循環・消化・血内・代内・呼内・消外・呼外・心外・麻酔・産婦・小児・精神・整形・脳外・
放射線・眼科・形成・耳鼻科・リハ
(科目によっては協力型病院で研修が可能；それぞれの選択期間については要相談)

専門研修の募集について

内科、外科、救急科、リハビリテーション科の基幹施設となっています。
応募については日本専門医機構の募集スケジュールに準じます。
詳細は当院HPをご確認ください。

研修・認定施設一覧

- ・臨床研修指定病院
- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・日本循環器学会循環器研修施設
- ・日本消化器学会専門医制度認定施設
- ・日本血液学会血液研修施設
- ・日本血液学会認定専門医研修認定施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修（連携）施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本総合健診医学会健診専門医研修施設
- ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本認知症学会教育施設認定証
- ・日本脈管学会認定研修関連施設
- ・日本脈管学会認定研修指定施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部ステントグラフト実施施設
- ・日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部ステントグラフト実施施設
- ・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- ・人間ドック検診専門医研修施設
- ・日本神経学会准教育施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化管学会胃腸科指定指導施設
- ・日本総合検診医学界及び日本人間ドック学会認定人間ドック/健診専門医研修施設
- ・DMAT 指定医療機関
- ・茨城県がん/重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
- ・茨城県癌検診精密検査実施指定医療機関
- ・茨城県肝疾患専門医療機関研修支援センター
- ・茨城県地域リハビリテーション研修支援センター
- ・茨城県地域リハ・ステーション
- ・マンモグラフィ検診施設認定施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・全国健康保険協会生活習慣病予防健診実施機関
- ・日本総合健診医学会認定優良総合健診施設
- ・日本ドック学会認定脳ドック施設
- ・指定運動療法施設
- ・日本人間ドック学会及び日本病院会優良人間ドック/健診施設
- ・健康評価施設認定機構認定人間ドック/総合検診/特定健診/特定保健指導施設
- ・茨城県指定訪問リハ・老健ステーション
- ・日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
- ・日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師制度研修施設

病院からメッセージ



プログラム責任者
救急科診療部長・集中治療科部長
阿部 智一

当院では急性期医療だけでなく、リハビリ医療、慢性期医療、在宅医療、予防医療、介護施設など幅広い領域におけるシームレスな研修が可能です。経験豊富な指導医が直接指導にあたるだけでなく、各診療科・各職種の垣根を超えた風通しの良いカンファレンスを行うなど、病院全体で研修医の成長をバックアップしています。研修プログラムは柔軟性に富み、研修医の希望と各スタッフの意見を迅速に反映しながら、一体となってより良い教育環境を目指しています。

臨床研修はもちろんのこと、症例発表や抄読会などの学術的なプログラムにおいても充実を図り、両面のバランスがとれた経験を積むことができます。「質の高いスペシャリスト」へと繋がる「ジェネラリストとしての基盤」が築けるように支援します。



研修医
岡口 和也

当院は少人数での研修プログラムであるため、1 年目から内科・外科の手技を多く経験できます。また処方や急性期・慢性期管理など様々な事を集中的に指導していただけます。リハビリも充実しており、様々な疫病に対してのリハビリを勉強することも出来ます。更に、研修内容の相談や日常での悩み等を気軽に相談できるスタッフの方々がいるので、研修医に対しての日々のサポートが充実していることも魅力のひとつです。いろいろな志を持った研修医たちとは仲が良く切磋琢磨し、医師として成長できます。
初期研修の 2 年間は長いようで短いです。一緒に当院で充実した研修生活を送りましょう。



11

筑波大学附属病院

病院の概要

開設 | 1976 年 3 月

開設者 | 国立大学法人筑波大学

院長名 | 原 晃

病床数 | 800 床

標榜科 (35科) |

内科、膠原病・リウマチ・アレルギー内科、腎臓内科、泌尿器科、血液内科、感染症内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器・移植外科、内分泌・代謝・糖尿病内科、乳腺・甲状腺・内分泌外科、循環器内科、心臓血管外科、腫瘍内科、脳神経内科、脳神経外科、脳卒中科、精神科、小児内科、小児外科、産科、婦人科、救急科、麻酔科、形成外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、腫瘍放射線科、放射線診断科、病理診断科、歯科口腔外科

指導医数 | 274人

研修医数 | 114人

研修医の主な出身大学 | 筑波大学、山形大学、秋田大学、北里大学、東京医科大学、獨協医科大学、日本大学、東邦大学、埼玉医科大学、東京女子医科大学、弘前大学、富山大学、山梨大学、愛媛大学、宮崎大学、神戸大学、福島県立医科大学 他

外来患者数 | 1,813人／日

入院患者数 | 664 人／日

募集要項

応募資格 | 2024 年 3 月国家試験合格見込者

採用人数 | 84名 (一般) 4名 (小児特別) 2名 (産科特別) 1名 (研究医特別) (予定)

試験日程 | 2023 年 8 月中旬～下旬頃
※研究医特別のみ5月

選考方法 | 面接、OSCE

処遇 | ■身 分：医院（研修医）
■給 与：1年次・2年次
基本的に諸手当等を含め年収約400万円

■社会保険：有り
■宿 舎：有り
■その他：

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…可能 学内宿泊施設等
料金：2,600 円～ 3,700 円
■問い合わせ先
担当者：病院総務部総務課
（総合臨床教育センター係）
TEL：029-853-3516、3523
E-mail：kensyu@un.tsukuba.ac.jp



応募・問合せ先

筑波大学附属病院

〒 305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
担当者：病院総務部総務課 総合臨床教育センター係
TEL：029-853-3516・3523
FAX：029-853-3687
E-mail：kensyu@un.tsukuba.ac.jp
URL：http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp



■つくばエクスプレス秋葉原駅
から快速利用、終点「つくば駅」
(45 分)下車後、A3 出口「つくば
センター」バスターミナル
で乗り換え※
■東京駅・八重洲南口（2 番の
りば）から高速バス（筑波大学
行）で「筑波大学病院入口」で
下車又は（つくばセンター行）
で終点（60 分）下車後乗り換
え※
■ JR常磐線・土浦駅西口（2
番のりば）から関東鉄道バス
又は関鉄パールバス
（筑波大学中央行）で「筑波大
学病院入口」(30 分)下車、又
は（つくばセンター行）で終点
(25 分)下車後、乗り換え※
■ JR常磐線・ひたち野うしく駅東口（1 番のりば）から関東鉄道バス（筑波大学中央行）
で「筑波大学病院入口」(30 分)下車 又は（つくばセンター行）で終点(25 分)下車後、
乗り換え※
※「つくばセンター」での乗り換え：6 番のりばから、「筑波大学循環(右回り)」又は「筑波
大学中央」行きのバスで約 5 分、「筑波大学病院入口」で下車

女性医師支援

筑波大学では育児中の女性支援に積極的に取り組んでいます。初期研修では産休・育休の取得、附属の保育園の利用、病児保育の利用が可能です。後期研修ではさらに短時間勤務制度が可能です。また、初期研修中でも専門研修中でも教育センター専任教員が出産・育児にあわせた研修カリキュラムの調整や相談対応を個別に行っています。



研修プログラムの特色

幅広い研修の選択肢と魅力ある病院群で、大学病院と市中病院を一人一人の希望に沿って組みあわせたハイブリット研修ができます。大学病院を中心に研修をしたい場合は地域医療研修期間（4 週間）以外の全てを大学で研修を行うことも可能であり、市中病院を中心に研修したい場合には最大 1 5 ヶ月を協力病院で研修することが可能です。大学病院ではプレゼンテーションや多科合同のカンファレンスなどを通して 1 例 1 例を深く掘り下げて学ぶことができ、協力病院にて common disease を数多く経験することができます。

また、外来研修として週 1 回という並行研修形式で診療所で研修することが可能です。診療所研修で在宅医療の経験や医療の継続性・保健・医療・福祉の連携などについて研修することができます。一般プログラムの他、小児科特別プログラム、産科特別プログラム、研究医特別プログラムがあります。（特別プログラムの詳細は個別にお問合せください）

研修スケジュール例

例 1 幅広く様々な科で研修

1 年 次												2 年 次													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内 科 (院外)			救 急 (院外)			内 科			整 形			麻酔科		産婦人科		小児科 (院外)		皮膚科 (院外)		精神科		地 域		外 科 (院外)	
												外来研修 (診療所週 1 回)													

例 2 専門分野（耳鼻咽喉科）を重点的に研修

1 年 次												2 年 次													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
耳鼻科		救 急		麻酔科		内 科 (院外)						地域＋選択		小児科 (院外)		産婦人科 (院外)		耳鼻科 (院外)		精神科		耳 鼻			
												外来研修													

※すべての診療科で選択研修が可能です。県内すべての基幹型研修病院と連携しています。

※研修スケジュールは個別に希望調査の上、総合臨床教育センター専任教員が個々の希望を調整しながらローテーションを組んでいます。

専門研修の募集について

新専門医制度の 1 9 基本領域のうち臨床検査を除く 1 8 基本領域で基幹型研修施設となっております。専門研修においては大学院に進学しつつ専門研修を行うアカデミックレジデント制度、専攻医の出身・育児を支援する女性支援制度、海外留学支援制度などがあり、多彩なキャリア支援を行っております。基本領域ごとの専門研修プログラムの内容は総合臨床教育センターのホームページ内「専門研修」をご参照ください。

研修・認定施設一覧

主要学会全ての教育認定施設となっております。筑波大学附属病院ホームページでご参照ください。

病院からメッセージ



総合臨床教育センター部長
瀬尾 恵美子

筑波大学附属病院は、開院以来先進的な医学教育プログラムの構築に努めてきました。卒前、卒後、生涯教育を統括する総合臨床教育センターに専任教員を配置し、一人一人に最適な研修を提供できる環境を整えています。充実した指導体制・研修管理体制・教育資源を持つ大学病院と、common disease を中心に数多くの症例を経験できる協力型市中病院の両方の利点を取り入れた当院の研修プログラムは、研修医ごとに希望に合わせて組まれており、一人として同じ内容はありません。また、専門医の取得や大学ならではの研究医の養成、海外留学制度、女性医師の出産育児支援の充実など、臨床研修の先のキャリアの広がりも当院の研修の魅力です。ぜひ、医師としての第一歩を筑波大学附属附属病院で踏み出し、自分の目指すキャリアを実現させてください。



研修医
立川 茉里絵

筑波大学附属病院の研修プログラムの最大の特徴は、大学病院、複数の市中病院を自身の希望に合わせてローテーションを組むことができる自由度の高さにあると思います。その柔軟性故に、将来進む診療科が決まっている人、研修を通して見つけていこうと思っている人双方に魅力的なのではないかと思っています。例えば私は学生時代より小児科医を志しており、初期研修は小児科を軸にプログラムを考えました。専門性の高い大学、common disease を診ることができる市中、また地域研修を利用して茨城県立こども病院と、合計 7 ヶ月もの期間で小児科を選択しました。また、小児科に関連の深い小児外科、産科を経験できたことも大学病院ならではのメリットです。さらに、小児救急コースを選択したため、市中病院は成人・小児双方の救急医療が盛んな筑波メディカルセンターで研修を行い、年齢層を問わず幅広い疾患の急性期の初期対応を学ぶことができました。様々な病院で研修することにより一定の負荷がかかり、良い緊張感を持って充実した研修を行えたと思っています。診療科が決まっているからこそ他の診療科を重点的に回ることや、研修を行いつつ 2 年目でローテートする診療科を考えるなど、多様なニーズに合わせて主体的に研修を決められるからこそ、どの人にとっても満足度の高い研修になるのではないのでしょうか。研修医の出身大学は筑波大学と他大学が同程度の割合であり、私自身も他大学出身ですが不便を感じることは一切なく、自然に溶け込むことができました。また、後進に対する教育的な土壌があり、多くのことを上級医から教えていただける他、研修医も学生へ説明することで自身の理解が甘い部分も浮き彫りになり成長につながりました。他にも産科では帝王切開の執刀医となったりと、貴重な経験ができ、上級医の指導の下、研修医が担当できる範囲が広いことも特徴です。皆さまにおいても当院で自分だけのオリジナルプログラムを作り、充実した研修を送れるよう、応援しています。



12 筑波メディカルセンター病院

病院の概要

開設	1985 年 2 月
開設者	公益財団法人筑波メディカルセンター
院長名	河野 元嗣
病床数	453 床
標榜科 (22科)	総合診療科、救急診療科、小児科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、腎臓内科、消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、病理診断科、糖尿病・内分泌代謝内科、病理科、放射線治療科、感染症内科、緩和医療科
医師数	137人（常勤）
指導医数	55人
研修医数	32人（基幹型 17 人、協力型15人）
研修医の主な 出身大学	筑波大学、山梨大学、北里大学、 獨協医科大学、新潟大学、佐賀大学、 産業医科大学 他

外来患者数 | 520人／日

入院患者数 | 321人／日

募集要項

応募資格	2024 年 3 月国家試験合格見込者もしくは、 医師臨床研修マッチングに参加資格を有する者
採用人数	13 名（予定）
試験日程	2023 年 8 月（予定）
選考方法	グループディスカッション・面接・書類
処遇	■身 分：正職員（臨床研修科） ■給 与：1 年次基本給30万円 その他諸手当等を含む年収約540万円 （時間外勤務手当は別途支給） 2 年次基本給33万円 その他諸手当等を含む年収約680万円 （時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：有り ■その他：住宅手当／月額 23,000 円上限
見 学	随時受付（土日祝日・12/28 ～ 1/4 除）

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者：総務部人事課（教育研修管理室）
TEL：029-851-3511
E-mail：kensyu@tmch.or.jp



応募・問合せ先

筑波メディカルセンター病院

〒 305-8558 つくば市天久保 1-3-1
担当者：総務部人事課（教育研修管理室）
TEL：029-851-3511（代）
FAX：029-858-2773
E-mail：kensyu@tmch.or.jp
URL：http://www.tmch.or.jp/hosp/index.html



〈電車・バスをご利用の場合〉
■つくばエクスプレス：つくば駅下車
・駅前西口から筑波大学循環バス（右回り・左回り）乗車（所要時間約 5 分）、「筑波メディカルセンター前」下車（所要時間約 35 分）
・タクシー約 20 分（荒川沖駅より約 7km）
・徒歩約 20 分
■常磐線：土浦駅下車
・駅前西口から筑波大学中央行・石下行に乗り、乗車し、「筑波メディカルセンター前」下車（所要時間約 35 分）
・タクシー約 20 分（土浦駅より約 10km）
■常磐線：荒川沖駅下車
・駅前西口から筑波大学中央行に乗り、乗車し、「筑波メディカルセンター前」下車（所要時間約 35 分）
・タクシー約 20 分（荒川沖駅より約 7km）
■常磐線高速バス特急つくば号
・東京駅八重洲南口バスターミナルより、「筑波大学」行き乗車（所用時間約 1 時間 10 分）「筑波大学病院」下車（徒歩 3 分）

女性医師支援

筑波メディカルセンター病院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産休、育児休暇、育児短時間勤務、当直免除等の制度を整備しています。
また、保育園・病児保育室も完備し、育児しながら働く場の提供を行っています。

研修プログラムの特色

- 救命救急センター、茨城県地域がんセンター、地域医療支援病院の特徴を活かし、基礎的臨床能力を修得するための研修
- 救命救急センターにおける救急医療、common diseaseを中心とした初期臨床研修
- 研修計画は希望を重視し、選択研修として当院及び協力型病院の希望診療科をローテート可能
- 病院の機能や他職種役割を理解するための院内各部署によるオリエンテーションを研修開始時に実施

研修スケジュール例

4 月初旬は全体オリエンテーションから開始します。

1 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	内 科						救 急			選 択	外 科	
2 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	精 神	地 域	選 択		小 児		選 択		産婦人科		選 択	

- 内 科（必修）24 週間（6 ヶ月）主に入院患者の検査・治療を中心に臨床医として必要な基本的スキルを習得する。
- 外 科（必修）8 週間（2 ヶ月）主に入院患者の診療と手術参加を通して、基本的な診療スキルと手術適応や外科的手技、周術期管理などについて習得する。
- 小 児 科（必修）8 週間（2 ヶ月）外来診療および入院患者の診療を通して、診察方法、基本的検査の選択と評価、治療手技、薬用量、小児保健などについて習得する。
- 産婦人科（必修）8 週間（2 ヶ月）協力病院での院外研修。
- 精 神 科（必修）4 週間（1 ヶ月）協力病院での院外研修。
- 救 急（必修）12 週間（3 ヶ月）主な救急疾患の病態を理解し、救急現場で最も適切な処置を迅速・確実に実施するために必要な基本的スキルを習得する。
- 地域医療（必修）4 週間（1 ヶ月）協力施設である複数の診療所での地域医療の現場を経験する。外来研修や在宅医療研修を行う。
- 外来研修（必修）4 週間（20 日間）院内の内科研修、小児科研修、および地域医療研修期間での並行研修を予定。
- 選 択 28 週間（7 ヶ月）院内および協力病院での自由選択研修。

専門研修の募集について

「内科」「救急科」「総合診療科」で専攻医を募集しております。
詳細はホームページをご参照ください。

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定医教育関連病院
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本救急医学会指導医指定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本外傷学会外傷専門医研修施設
- ・日本航空医療学会認定指定施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本アレルギー学会認定教育施設（呼吸器内科・小児科）
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本神経学会専門医准教育施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- ・日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- ・関連 11 学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会腹部・胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医基幹施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医認定施設
- ・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設（一次再建）・インプラント実施施設（一次一期再建）
- ・日本消化器病学会専門医認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設基幹教育施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本手外科学会手外科専門医関連研修施設
- ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ・日本病理学会病理専門医研修認定施設 B
- ・日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定研修施設
- ・日本臨床細胞学会教育研修施設
- ・日本臨床細胞学会施設認定
- ・日本感染症学会連携研修施設
- ・日本環境感染学会認定教育施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本栄養療法推進協議会 NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本脈管学会認定研修関連施設
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医教育医制度認定施設

病院からメッセージ



プログラム責任者 齊藤 久子 専門部長

当院の臨床研修の理念は「いかなる状況でも目の前の患者さんと真摯に向き合える医師を養成する」です。けがや病気の方を助けたいという気持ちは医師を目指す誰もが持っていると思いますが、「いかなる状況でも“真摯に向き合うためには、自分自身が健康で人として成長し、その上に医学の知識と経験、また自分の能力を知り他スタッフとどう連携できるか”瞬時に判断する冷静さやコミュニケーション能力が必要です。当院では、この理念のもと、病院全体、多職種一丸となって研修医の育成に力を入れています。
当院は救命救急センターや地域がんセンターを有する地域中核病院で、メディカルラニーや学術集会、勉強会など教育は充実しています。全国から研修医は集まっており、進路も救急医療から基礎医学まで様々です。是非一度見学に来てください！



研修医 関田 祐莉

当院での初期研修の魅力は、救急外来で診るウォークイン症例の豊富さと充実した指導医のバックアップ体制です。自ら主体的に診療に携わる一方で、経験豊富な指導医と安心して相談できる環境が整っています。また、先輩医師はもちろんですが、病院全体で「研修医を育てよう！」とサポートしてくださる病院だと感じます。さらには、学会さながらの環境で院内発表を行う学術集会や、救急現場を模したブースで対応力を競うメディカルラリーなど、知識のブラッシュアップだけでなく実際にアウトプットすることで多くの技能が身につきます。全国各地から集まる個性豊かな研修医と切磋琢磨しながら、2年間でぐんと成長しましょう！



13 筑波学園病院

病院の概要

開設	1975 年 7 月
開設者	一般財団法人 筑波薺仁会
院長名	原田 繁
病床数	331 床
標榜科 (24科)	内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、心療内科、小児科、外科、肛門科、形成外科、脳神経外科、心血管外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリ科、歯科口腔外科、放射線科、麻酔科、リウマチ膠原病内科
医師数	55 人（常勤）
指導医数	32 人（7 年目以上：48 人）
研修医数	11 人（協力型病院研修医含む）
研修医の主な 出身大学	筑波大学、熊本大学、札幌医科大学、中国福建医科大学、東海大学、北里大学

外来患者数 | 947人／日

入院患者数 | 188人／日

募集要項

応募資格	2024 年 3 月国家試験合格見込者
採用人数	5 名（予定）
試験日程	2023 年 8 月頃（予定）
選考方法	面接、小論文
処遇	■身 分：医員（研修医） ■給 与：1 年次基本給331,500円 その他諸手当等を含む年収約476万円 2 年次基本給341,900円 その他諸手当等を含む年収約524万円 ■社会保険：有り ■宿 舎：有り（単身者用） ■そ の 他：

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者：人事部 藤澤
TEL：029-836-1286（内線 2341）
E-mail：kei-kikaku@gakuen-hospital.or.jp



応募・問合せ先

筑波学園病院

〒305-0854 茨城県つくば市上横場 2573-1
担当者：人事部 藤澤
TEL：029-836-1286（直通 2341）
FAX：029-836-1918
E-mail：kei-kikaku@gakuen-hospital.or.jp
URL：http://www.gakuen-hospital.or.jp



■つくばエクスプレス：みどりの駅より農林団地中央行（農林団地循環）谷田部車庫下車
つくば駅（つくばセンター）より牛久駅西口行 谷田部車庫下車
■JR常磐線：土浦駅より水海道駅行 筑波学園病院前下車 または谷田部車庫行 谷田部車庫下車 牛久駅より谷田部車庫行 谷田部車庫下車
■関東鉄道常総線：水海道駅より土浦駅行 筑波学園病院前下車
■筑波大学より：牛久駅西口行 谷田部車庫下車
■コミュニティバス：つくば南部シャトル NO3 谷田部車庫下車
■常磐道：谷田部インターより 約 10 分
桜土浦インターより 約 15 分
■関央道：つくば中央インターより 約 10 分

女性医師支援

妊婦・出産・育児のための支援制度

- ・育児短時間制度
- ・院内保育所の設置
- ・育児休業
- ・病児保育
- ・短時間正職員制度
- ・産前産後休暇
- ・出産祝金
- ・夜間保育

研修プログラムの特色

1 年次においては基本研修をしっかりと学び、2 年次において自由選択研修を行う。特に 2 年次に関しては自由選択研修において多様な各科プログラムを選択でき、希望によりスーパーローテイトができる。また、地域医療においては同法人内施設による在宅医療の研修や、周辺地域の開業医での研修など研修医の希望に応じて研修が実施できる。

研修スケジュール例

週数	1～24		25～36	37～40	41～44	45～48
1 年次	内 科		救急部門（麻酔科含む）	外科	小児科	産婦人科
週数	49～52	53～56	57～104			
2 年次	精神科	地域医療	選択科			

備考：●一般外来は内科・外科・小児科において並行研修
●CPC は当院にて実施。
●選択科目
【当院内で可能な診療科】腎臓内科、呼吸器内科、外科（乳腺内分泌外科、形成外科含む）、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科
【当院外での研修】代謝内科、血液内科、神経内科、脳神経外科、心血管外科、放射線科、消化器内科、循環器内科
●救急当直は研修期間の 2 年間を通して行う。 約 4 回／月

専門研修の募集について

専門研修については、筑波大学の専門研修連携施設としてプログラムに参加しています。詳細については各プログラムを参照してください。

研修・認定施設一覧

- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本透析医学会認定施設
- ・日本老年医学会研修施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本麻酔学会麻酔科認定施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練指定施設
- ・日本乳癌学会乳腺専門医関連施設
- ・日本整形外科学会整形外科専門医研修施設
- ・日本形成外科学会認定教育関連施設
- ・日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器専門医拠点教育施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医研修施設
- ・日本眼科学会眼科専門医制度研修施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・日本内科学会認定医教育関連病院
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医認定（関連）施設
- ・日本生殖医学会指定生殖医療専門医制度認定研修施設
- ・日本消化器外科学会認定専門医修練施設
- ・日本甲状腺学会専門制度認定専門医施設
- ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設

病院からメッセージ



研修責任者
斎藤 重行 副病院長

当院における臨床研修の特徴は、病院の規模を生かしたきめ細やかな指導にあると言えます。2 次救急病院として、一般的な疾患をもつ患者が多く、初期研修医として適切な症例が経験できます。指導医の多くは各分野の専門医であり臨床研修に優れていると自負しております。当院を経験した、誇れる先輩医師が筑波大学を始め多数おられますので後期研修先にも継続して発展できます。当院研修システムは、基本を主に経験した後将来進むであろう専門医に必要なと思われる診療科を選択して学ぶことができます。

病院をあげて初期研修医を歓迎いたします。ぜひ、見学にいらしてください。



研修医
田中 翼

筑波学園病院で初期研修を行うことは、医師人生において最良のスタートをきるに最適であると実感しております。一つに、自身の手で医療を提供できることです。上級医の指導の下、入院計画を立案し検査・処方・リハビリ・食事などの指示をすることができます。また外来でも、初診の患者を診察し多くの症例を経験することができます。もう一つに、上級医・同期に恵まれていることです。経験豊富な上級医が、基礎的なことはもちろん、その診療科ならではの知識・技術を指導してくれます。同期についても、たすきがけで様々な病院から来ます。他の病院の様子や、仕事以外でも多くのアドバイスをもらえます。他にも、ここには書ききれないほど多くの魅力が当院にはあります。ぜひ一度見学にいらしてください。



15 牛久愛和総合病院

病院の概要

開設 | 1978年11月
開設者 | 医療法人社団 常仁会
院長名 | 瀬下 明良
病床数 | 489床
標榜科 |

内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、
内分泌内科、呼吸器内科、糖尿病代謝内科、
腎臓内科、脳神経内科、心療内科、外科、
整形外科、消化器外科、脳神経外科、形成外科、
リウマチ膠原病内科、小児科、皮膚科、泌尿器科、
産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、
リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、
歯科口腔外科 他

医師数 | 71人

指導医数 | 28人

研修医数 | 10人

研修医の主な
出身大学 | 兵庫医科大学、東京医科大学、
筑波大学、東京医科歯科大学、
昭和大学 等

外来患者数 | 711.4人／日

入院患者数 | 368.6人／日

募集要項

応募資格 | 2024年3月国家試験合格見込者

採用人数 | 6名（予定）

試験日程 | 2023年8月（予定）

選考方法 | 面接

処遇 | ■身分：常勤職員
■給与：1年次400,000円 その他諸手当等を含む年収約540万円
（時間外勤務手当は別途支給）
2年次425,000円 その他諸手当等を含む年収約609万円
（時間外勤務手当は別途支給）
■住宅手当：月40,000円補助
■社会保険：加入

病院見学対応状況

■見学時間…随時（月～土）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
担当者：人事部 山崎
TEL：029-873-3111
FAX：029-874-1031
E-mail：recruit@jojinkai.com



応募・問合せ先

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896
担当者：人事部 山崎
TEL：029-873-3111
FAX：029-874-1031
E-mail：recruit@jojinkai.com
URL：http://www.jojinkai.com



■電 車：常磐線牛久駅東口より病院バスで10分
■お 車：常磐道～つくばJ・C・T経由
圏央道つくば牛久ICより5分

女性医師支援

★出産・育児休暇…取得実績あり
★院内保育所…24時間保育実施（0歳児より可）

研修プログラムの特色

- 常に指導医とマンツーマンの体制にある。
研修中は、常に指導医の管理下で研修を行う様に配慮し、指導医から研修医、また、研修医から指導医に意思の疎通が図られるようにしています。
- プライマリーケア研修を重視
地域の患者様との関わり方を重視し、市中病院ならではの医師としての原点を考える研修ができます。
- CPCを病院単独で開催している。
研修医として、密度の高いCPC等へ参加ができます。（定期1回／月）

研修スケジュール例

基本 プログラム	1 年 目												2 年 目											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	内 科						救 急			外 科		小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選 択 科								
一般外来 並行研修可能	総合診療○／専門外来×						×			○		○	×	×	○	診療科による								

※選択科目（2年次）：牛久愛和総合病院 又は 協力型病院

協力型病院：東京女子医科大学附属足立医療センター（選択科・救急科・小児科）、筑波大学附属病院（選択科）、筑波学園病院（小児科・産婦人科）、東邦大学医療センター大森病院・大橋病院・佐倉病院（選択科）、総合母子保健センター愛育病院（産婦人科）、みやぎきホスピタル（精神科）、東京医科大学茨城医療センター（必修科・選択科）、神立病院（地域医療）、さくら台土肥クリニック（地域医療）、つくばセントラル病院（産婦人科）、宮崎医療センター病院（内科、外科、選択科）

専門研修の募集について

内科や外科、その他の診療科においても、筑波大学附属病院や東京女子医科大学病院の連携施設となっておりますので、様々な診療科で研修が可能です。

研修・認定施設一覧

- ・臨床研修指定病院
- ・地域災害拠点病院
- ・病院機能評価認定 第JC714-4号一般病院2
- ・日本内科学会 認定医制度教育病院
- ・日本整形外科学会 専門医制度研修施設
- ・日本外科学会 外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導連携施設
- ・日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
- ・日本血液学会 専門研修認定施設
- ・日本脳卒中学会 専門医認定制度研修教育病院
- ・日本腎臓学会 研修施設
- ・日本形成外科学会 教育関連施設
- ・日本熱傷学会 熱傷専門医認定研修施設
- ・日本乳癌学会 認定医・専門医制度関連施設
- ・日本透視医学会 専門医制度認定施設
- ・日本眼科学会 専門医制度研修施設
- ・日本大腸肛門病学会 認定施設
- ・日本消化器病学会 認定施設
- ・日本糖尿病学会 認定教育施設
- ・日本脳神経外科学会 専門医研修プログラム研修施設
- ・日本消化器外科学会 専門医制度指定修練施設
- ・日本循環器科学会 研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会 研修関連施設
- ・下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
- ・茨城県肝疾患専門医医療機関
- ・茨城県指定 地域リハ・ステーション
- ・国土交通省重度後遺障害者短期入院協力病院
- ・日本病院会短期人間ドック指定医療機関
- ・厚生労働大臣認定 健康増進施設『スポーツ・リラックス』
- ・腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- ・NCD (National Clinical Database) 施設会員
- ・日本口腔外科学会 准研修施設
- ・日本アフェリシス学会 認定施設
- ・日本神経学会 専門医制度准教育施設
- ・日本リウマチ学会 教育施設

病院からメッセージ



研修責任者
石津 隆 副院長
(兼 臨床研修管理委員長)

当院は中規模の民間病院であるため、国公立病院や大規模な病院よりも自由度が高く、一人ひとりの希望に沿った研修を積むことができます。研修プログラムはかなり融通が利き、途中で変更することも可能です。診療においては、地域の中核病院として高齢者医療から救急医療まで担っているため、幅広い疾患を経験することができます。指導医がマンツーマンで指導を行い、少人数制のため十分な診療手技を経験・習得することができると考えます。病院のチームの一員として積極的に診療に参加してもらい、指導医が見守りながらきめ細かくフォローしていきます。

また、診療科の垣根が低く、院内の雰囲気も非常に良いため仕事がしやすい環境であることも自慢です。垣根が低いことは、他科の医師に相談しやすいだけでなく、ローテーションしていない診療科医師からも貴重な症例があれば「一緒に診ようよ」と声掛けられるアットホームな環境です。是非一度見学をして、当院のアットホームな雰囲気を感じてください。



研修医
宮越 歩

圧倒的な雰囲気良さ、私が当院を希望した1番の決め手です。

就職前の見学の際にバックグラウンドも志望科も様々な先輩研修医の先生方が、皆さん伸び伸びともしっかりと励まれているのが印象的でした。そうして飛び込んだ当院の研修では、温かな雰囲気の中、医師として大切なエッセンスを身に着けられる機会が沢山です。

地域に根ざした基幹型病院として common disease から救急疾患まで幅広く診療に当たっておりますが、そんな中で研修医もチームの一員として様々なことを考え学び実践し、日々鍛えられています。10人と少人数制なので、熟練の先生方から直接ご指導頂けたり、「じっくりと焦らずに、自分のペースで力をつけていく」ことが出来るのも魅力で、一人ひとりがとても大事にされているのを感じます。ぜひ一度見学にお越し頂ければ嬉しいです。皆さんにぴったりの研修先とのご縁を願っています。



つくばセントラル病院

病院の概要

開設	1988年12月
開設者	社会医療法人 若竹会
院長名	金子 剛
病床数	313床
標榜科	内科、外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、心療内科、脳神経内科、脳神経外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、小児科、歯科、歯科口腔外科、眼科、精神科、皮膚科、麻酔科、放射線科、腫瘍放射線科、リハビリテーション科、
医師数	64人（歯科医を含む）
指導医数	45人
研修医数	2人
研修医の主な出身大学	東北大学、新潟大学、筑波大学 金沢医大、富山大学、東京医科歯科大学

外来患者数 | 318.7人／日

入院患者数 | 274.5人／日

募集要項

応募資格 | 2024年3月国家試験合格見込者及び取得者

採用人数 | 7名（予定）

試験日程 | 2023年8月ごろから

選考方法 | 面接、小論文、小テスト

処遇

- 身分：正職員
- 給与：1年次基本給40万円 その他諸手当等を含む年収約522万4千円（時間外勤務手当は別途支給）
2年次基本給45万円 その他諸手当等を含む年収約587万7千円（時間外勤務手当は別途支給）
- 社会保険：健康・厚生年金・雇用・労災
- 宿舎：有り
- その他：住宅手当／無

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日・土）
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者：総務課 高野
TEL：029-872-1771
FAX：029-874-4763
E-mail：masaki.takano@central.or.jp

女性医師支援

- ・24時間対応託児所あり
- ・短時間正社員制度あり
- ・医師70人中21人が女性医師
- ・病児保育体制有



応募・問合せ先

つくばセントラル病院

〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1589-3
担当者：総務課 高野 匡規
TEL：029-872-1771
FAX：029-874-4763
E-mail：masaki.takano@central.or.jp
URL：http://www.central.or.jp



■JR常磐線牛久駅下車 バスで10分
牛久駅東口より企業バスを運行
■圏央道つくば牛久ICより車で15分

研修プログラムの特色

1. 医療機能評価認定病院、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、県南透析医療の拠点病院、総合リハビリテーションセンター等の病院機能の特徴を活かし、始祖的な臨床能力を習得する。
2. 選択研修として希望診療科のローテートが可能。

研修スケジュール例

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急			外科	選択必修	小児科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児科	選択必修	産婦人科	地域	精神科		選択					

※各研修医の研修計画によって診療科の順序は異なります。また、選択必修は、外科・麻酔科・小児科（院外）・産婦人科・精神科（院外）から選択

※院外：宮本病院（精神）
筑波メディカルセンター病院（小児科）
筑波大学附属病院（全科）

専門研修の募集について

後期研修プログラムは提供しておりませんが、適切な進路指導をいたします。

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定教育施設
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本循環器学会研修関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会教育関連認定施設
- ・日本アフェシス学会認定施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本医学放射線学会修練機関
- ・日本脳神経外科学会連携施設
- ・日本外科学会専門医制度修練施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本手外科学会認定研修施設
- ・日本産科婦人科学会卒後研修指導施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- ・日本口腔ケア学会認定施設

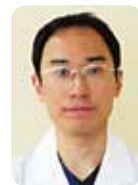
病院からメッセージ



理事長
竹島 徹 理事長

かつて先輩医師から言われました。「入局したばかりの2年間の修練時代は医師の骨格を作る時代。医師として一生が決まる本場に大切な時代だ」と。そのことは、現在の初期研修制度の時代であっても真実であると思います。

わが社会医療法人は「一人の人を大切に医療に徹する」との法人理念のもとに地域密着、急性期医療、プライマリケアと専門病院としての機能の充実に努めています。機能評価、県南透析医療の拠点病院、周産期医療、リハビリ医療などの特色に加え、医療と介護の複合体連携の強みを利用して、プライマリケアを遂行できる臨床研修プログラムとします。



1年目 研修医師
内田 暁

私は筑波大学病院で9か月勤務してから当院での勤務を始めました。

大学と違って医師の数が少ないため、主治医の先生までの距離が大学の時と比べて非常に近く、質問や提案などはすぐ主治医の先生に伝えられ、自分が考えたことへのフィードバックを得やすいという良さがあります。さらに、医療職・非医療職問わずコミュニケーションしやすく、業務遂行するサポートが充実した環境だとも感じます。当院プログラム所属の1年目研修医は2人ですが、筑波大学やメディカルセンターの研修医の先生も短期ローテートしに来るので、仲間もできやすい環境です。令和5年度採用の研修医は5名でして、今後どんどん初期研修の体制も充実していくだろうと考えます。共に働けることを楽しみにしております。



17 JAとりで総合医療センター

＼ 病院の概要 ／

開 設	1947年4月1日
開 設 者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院 長 名	富満 弘之
病 床 数	414床（一般406床、感染8床）
標 榜 科	内科、脳神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、小児科、外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、高齢者歯科、病理診断科、臨床検査科、内分泌代謝内科、膠原病・リウマチ内科

医 師 数	106人
指 導 医 数	27人
研 修 医 数	18人（基幹型9人、協力型9人）
研修医の主な出身大学	東京医科歯科大学、筑波大学、東京医科大学、産業医科大学、新潟大学、信州大学、愛媛大学、東京女子医科大学、杏林大学

外 来 患 者 数	1,119人／日
入 院 患 者 数	316人／日

＼ 募集要項 ／

応募資格	2024年3月国家試験合格見込者
採用人数	5名
試験日程	2023年8月上旬（予定） 日時決定次第ホームページに掲載します
選考方法	小論文、面接
処 遇	■身 分：常勤医師 ■給 与：1年次基本給35万円 その他諸手当等を含む年収約540万円（時間外勤務手当、日当直手当は別途支給） 2年次基本給45万円 その他諸手当等を含む年収約705万円（時間外勤務手当、日当直手当は別途支給）（令和3年12月1日現在） ■社会保険：厚生年金、健康保険、雇用保険加入 ■宿 舎：住宅手当支給 ■そ の 他：

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…5～6年生
- 宿泊…近隣の宿泊施設をご利用いただいております。
- 問い合わせ先
担当者：庶務課 小倉・高野
TEL：0297-74-5551
E-mail：toride@medical.email.ne.jp



＼ 応募・問合せ先 ／

JAとりで総合医療センター

〒302-0022 茨城県取手市本郷2-1-1
担当者：庶務課 小倉・高野
TEL：0297-74-5551（内線2359）
FAX：0297-74-2721
E-mail：toride@medical.email.ne.jp
URL：http://www.toride-medical.or.jp



■JR常磐線 取手駅西口
関東鉄道バスJAとりで総合医療センター行き 約6分
■常磐自動車道 谷和原ICより約30分、谷田部ICより約30分
応募方法：履歴書・大学推薦書を庶務課あてに郵送して下さい

女性医師支援

当院では常勤医師の25%にあたる26人の女性医師が働いており附属保育所も設置しております。その他、女性専用の当直室を完備、規定に従った産休、育休が取得できます。



保育所

研修プログラムの特色

- 1年目は臨床の基礎となる内科、外科、救急科を研修し、2年目は精神科、小児科、産婦人科、地域医療、一般外来の研修に加え、3年目以降に希望する診療科を鑑みた準備が出来るように選択科目を多くとっております。
- 3次救急施設ではありませんが、救急搬送患者を含む救急患者数は非常に多く、県内でも有数の救急医療に力をいれる病院です。特にCommon diseaseの救急から重症疾患まで幅広く救急医療を体験できます。
- 指導体制は、指導医と研修医がマンツーマンで行っており、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身に付けることができます。各診療科との連携及びコ・メディカル協力体制は万全です。
- 「いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト」に参加、選択枠ではプロジェクトに参加する病院での研修が可能。

研修スケジュール例

1年次	内 科（24週）				外科（8週）	選択科目（8週）	救急（12週）
2年次	小児科（4週）	産婦人科（4週）	精神科（4週）	地域医療 一般外来（4週）	選 択 科 目（36週）		

《選択科目》内科（呼吸器内科、脳神経内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、内分泌代謝内科、膠原病・リウマチ内科）、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科

いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト参加病院

茨城西南医療センター病院（境町）、霞ヶ浦医療センター（土浦市）、友愛記念病院（古河市）、JAとりで総合医療センター（取手市）

専門研修の募集について

新専門医制度では内科は独自のプログラムを持っています。その他の科については、東京医科歯科大学、筑波大学などの連携施設として専門研修生が研鑽を重ねています。

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定医教育施設
- ・日本透析医学会教育関連施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定研修施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本神経学会教育施設
- ・日本消化器学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ・日本大腸肛門病学会専門医修練施設
- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・日本脳神経外科学会専門医訓練施設（C項）
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会認定専門医研修施設
- ・日本病理学会認定施設
- ・日本病院会指定優良短期日本人間ドック施設
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本核医学会専門医教育機関
- ・日本静脈経腸栄養学会実地修練施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本医学放射線学会専門医修練施設（診断・核部門）
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本IVR学会指導医修練施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本アレルギー学会準教育施設
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
- ・日本血液学会血液研修施設

病院からメッセージ



研修責任者
桃原 祥人 産婦人科部長

2年間の初期臨床研修に求めるものは人それぞれ、多様化してきています。自分の進む診療科が決まっていって関連分野の研修を重視する人も、一定の責任の下で医療を行いながら適正を見極める目的の人もいるでしょう。熱心な指導医、多くの症例、学術的な指導など重視するものも人それぞれだと思います。

当院は地域中核病院として、急性期医療中心に幅広い診療科を網羅するとともに、大病院にはないフットワークが自慢です。良好な協力関係の下、近隣の医療機関での研修も経験できます。研修プログラムも柔軟性に富み、幅広い研修のニーズに応えることができると自負しています。私たちと一緒に、未来への一歩を踏み出しましょう。



研修医
高橋 優太

当院は胸部外科と一部のマイナー外科を除くほぼすべての診療科が揃っており、幅広い研修ができます。さらに、いばらき夢チャレンジのプロジェクトを採用しており、他の病院で3次救急や当院にない診療科の研修をすることも可能です。そして、後期研修医の先生方も多く、距離が近いため、研修期間に限らずいつでも質問や指導を仰ぐことができます。また、研修環境に対する要望についても臨機応変に対応していただけるので、非常に充実した研修生活を送ることができます。私自身、研修開始時は志望科が決まっていませんでしたが、指導医の先生方やコメディカルの方々に相談に乗っていただき、納得のいく進路を選択できました。研修医が大事にされていると日々感じます。進路を迷っている方は当院で研修してはいかがでしょうか。興味がありましたらぜひ一度見学にいらしてください。お待ちしております。



18 総合守谷第一病院

＼ 病院の概要 ／

開設	1990年4月
開設者	社会医療法人社団光仁会
院長名	遠藤 優枝
病床数	199床
標榜科	内科、心療内科、脳神経内科、小児科、外科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、リウマチ科、眼科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、乳腺外科
医師数	39人
指導医数	14人
研修医数	2人
研修医の主な出身大学	筑波大学
外来患者数	718人／日
入院患者数	165人／日

＼ 募集要項 ／

応募資格	2024年3月国家試験合格見込者
採用人数	2名
試験日程	2023年8月頃
選考方法	面接
処遇	■身分：常勤職員 ■給与：月額 350,000円 ■社会保険：完備 ■宿舎：有

病院見学対応状況

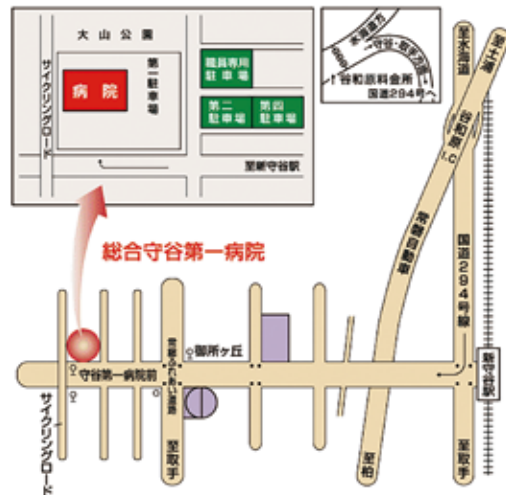
- 見学時間…随時（平日）
- 対象…5～6年生
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者：事務部 駒田 共章
TEL：0297-45-5370
E-mail：komada@moriya.daiichi.or.jp



＼ 応募・問合せ先 ／

総合守谷第一病院

〒302-0102 茨城県守谷市松前台1-17
担当者：事務部 駒田 共章
TEL：0297-45-5370
FAX：0297-45-5050
E-mail：komada@moriya.daiichi.or.jp
URL：https://www.moriya.daiichi.or.jp



■つくばTX守谷駅下車西口にて新守谷駅行き市内循環バス
15分松前台一丁目下車徒歩2分、
関東鉄道常総線新守谷下車徒歩25分

女性医師支援

当院は敷地内に24時間体制の院内保育園を併設しており、0歳児から受け入れてくれています。保育園の方針として、母乳保育を推進しており、診療時間を調節して授乳時間を確保しながら仕事を続けたママさん医師もいました。研修期間を長期に延長することなく、復帰することも可能ですし、育休をしっかりと確保した上で、短時間勤務での復職も可能です。
子育てしながらの先輩医師も復帰しておりますので、子育ての悩みも相談しやすいと思います。

研修プログラムの特色

1. 地域密着型の中規模病院であり、プライマリ・ケアから二次（一部は三次）救急にわたる幅広い研修ができます。
2. 総合病院であり、周産期・小児医療を含む幅広い診療科が院内で研修可能です。
3. 協力型臨床研修病院である筑波大学附属病院との「たすきがけ研修」など柔軟な研修コースの設定が可能です。

研修スケジュール例

※ 必修科目を優先する場合

2021年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内 科						外 科・救急医療			必修選択科目		
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域	選 択 科 目（当院または協力型臨床研修病院）										

※ 将来専門としたい診療科を優先する場合

2021年

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	将来の診療科選択			外 科・救急医療			内 科・救急医療					
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	必修選択科目			地域	選 択 科 目（当院または協力型臨床研修病院）							

ローテーションについては、指導医と面談を行いながら、柔軟なコース設定が可能です。

1年次は、内科・外科をローテーションして、プライマリ・ケアの診療能力（態度・技術・知識）の習得を行いつつ、各科の指導医とともに救急外来を担当します。また、心電図、画像診断についての勉強会で診断能力の向上を図ります。

2年次は、1年次の終了前に指導医と面談、アドバイスをもとに選択科を中心のローテーションを行います。

*院 内：内科（消化器・循環器・呼吸器）・外科・小児科・産婦人科・整形外科・脳外科・泌尿器科・麻酔科・皮膚科・眼科・地域医療

*協力病院：水海道厚生病院（精神科）、筑波大学附属病院（各科）、筑波メディカルセンター病院（救急部門）

*公衆衛生：竜ヶ崎保健所

専門研修の募集について

総合守谷第一病院臨床研修プログラムによる初期研修を終了した臨床研修医はすべて、総合守谷第一病院での後期研修プログラムに参加することが可能です。後期研修では、総合守谷第一病院単独の研修コース以外に、希望によっては筑波大学附属病院との「たすきがけ研修」のコースが用意されており、4年間の後期研修終了時には各学会認定医、専門医資格などが取得できます。

募集人員	募集診療科	選考方法	応募時期
2名	内 科	面接	随時

研修・認定施設一覧

- ・日本医療機能評価機構による病院機能評価認定病院
- ・ISO9001:認定病院
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本外科学会外科専門医制度研修関連施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- ・日本整形外科専門医研修施設
- ・麻酔科認定病院
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本消化器病学会関連施設
- ・日本呼吸器学会関連施設
- ・日本乳癌学会関連施設

病院からメッセージ



院長
遠藤 優枝 病院長

当院は、県内でも有数の人口流入地域である守谷市で総合病院として、地域医療の中核を担っています。199床と中規模病院ではありますが、産婦人科・小児科診療から訪問診療に到る幅広い診療を行うと共に、救急医療にも力を注いでおり、脳血管疾患の急性期医療も対応可能な診療体制を整えております。当院での研修では、診断のついた患者さんをマニュアルに沿って治療するような診療ではなく、いろいろな背景を持った患者さんを診断するところから、日常生活へ戻すまでの診療を体験することができます。自ら考え、勉強し、指導医を含めた多職種の治療者とチーム医療を行うことで、医師としての基本的姿勢やコミュニケーション能力を磨いていただければと思います。



研修責任者
西村 一

当院は地域の中核病院であり、アットホームな中規模病院です。すぐ身近に相談できる上級医がいます。また多くの症例や手技を皆さんに優先的に担当していただき、早期からチームの一員として診療に参加いただくことで、主体的に研修期間を過ごせるよう最大限の配慮を行います。

時に周辺から紹介を受け、時に高度医療施設に紹介します。また医療が最優先される患者さんばかりではなく、生活の中での医療の在り方を考える機会もしばしばです。偏った立場からではない医師の視点を体験することもできます。

大病院にも負けない研修ではなく、「当院だからこそ提供できる研修」があります。一人ひとりの研修を病院全体で支援します。



19 龍ヶ崎済生会病院

＼ 病院の概要 ／

開設	2001年11月
開設者	社会福祉法人龍ヶ崎済生会支部茨城県済生会
院長名	海老原 次男
病床数	210床
標榜科	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科
医師数	41人（常勤）
指導医数	19人
外来患者数	451人／日
入院患者数	124人／日

＼ 募集要項 ／

応募資格	2024年3月国家試験合格見込み者
採用人数	2名
試験日程	2023年8月頃
選考方法	面接、小論文
処遇	■身 分：常勤（研修医） ■給 与：1年次：303,600円 2年次：312,400円 賞 与：4.45カ月（R4年度実績） ■社会保険：有 ■宿 舎：有 ■そ の 他：通勤手当・住宅手当・扶養手当 時間外手当

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（月～金）
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者：総務課 須藤
TEL：0297-63-7111
E-mail：web_master@ryugasaki-hp.org



＼ 応募・問合せ先 ／

龍ヶ崎済生会病院

〒301-0854 茨城県龍ヶ崎市中里1丁目1番
 担当者：総務課 須藤
 TEL：0297-63-7111
 FAX：0297-63-7163
 E-mail：web_master@ryugasaki-hp.org
 URL：http://www.ryugasaki-hp.org



- JR常磐線 龍ヶ崎駅
関東鉄道バス白羽1丁目行き 済生会病院下車 約20分
- 常磐自動車道つくばJCTより圏央道（首都圏中央連絡自動車道）
牛久阿見ICより約25分

女性医師支援

- 敷地内保育所完備（休日・夜間・病児保育あり）
- 育児短時間勤務
- 育児のための所定外労働の免除
- 育児のための時間外労働・深夜業の制限
- 子の看護休暇
- ファミリーサポート休暇 他



研修プログラムの特色

地域の基幹病院、稲敷地区の救急受け入れのゲートとしてプライマリケアの習得に必要な豊富な症例の経験が可能で
 す。また周産期医療・小児医療については筑波大学附属病院と協力して、これまでに多くの研修医の受け入れ実績があ
 ります。

済生会グループであることを活かし、水戸済生会総合病院や神栖済生会病院、常陸大宮済生会病院、茨城県立こども
 病院などとの連携・研修が可能です。また、同じく済生会グループの特別養護老人ホーム龍ヶ岡や当院付属の総合健診
 センターが隣接しており、急性期のみならず幅広い臨床研修が可能です。

研修スケジュール例

1年次	内 科（24週）		外科（8週）	救急（12週）	小児科（8週）
2年次	産婦人科（8週）	選 択 科 目（32週）			精神科（4週） 地域医療（8週）

【協力型病院】
 筑波大学附属病院、水戸済生会総合病院、神栖済生会病院、茨城県立こども病院、みやざきホスピタル
 【協力施設】
 常陸大宮済生会病院、いしかわクリニック、特別養護老人ホーム龍ヶ岡、竜ヶ崎保健所

専門研修の募集について

独自のプログラムはありませんが、筑波大学附属病院などの連携施設として引き続き当院での研修が可能です。

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・日本外科学会専門医制度関連施設
- ・日本消化器外科学会専門医制度修練施設
- ・日本循環器学会専門医制度研修関連施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本呼吸器学会専門医制度認定施設
- ・日本神経学会専門医制度准教育施設
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本認知症学会専門医制度教育施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科標榜のための研修施設
- ・日本胆道学会指導施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本栄養療法推進協議会NST稼働施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本人間ドック学会専門医制度認定研修施設

病院からメッセージ



院長
海老原 次男

当院は協力型臨床研修病院として、2-3ヶ
 月の短期研修の指導をしておりましたが、最近
 は卒業直後から当院で半年、1年の長期研修
 を希望される方も出てきていることから、基幹型臨床研修病院を
 申請し、承認を受けました。
 茨城県南は一般病床過剰地域ですが龍ヶ崎市の一般病床は
 全国平均の約半分しかありません。しかも総合病院は当院のみ
 です。このため、紹介や救急など急性期の症例が多く、初期研
 修のみならず、スキルアップにうってつけの環境にあります。
 医師不足地域での公的医療機関、地域医療支援病院として、
 各科専門医・指導医も多く、当院での初期研修を希望される先
 生を、病院をあげてお待ちしております。



プログラム責任者
古庄 健太郎 副院長

様々な経験を積んで知識や手技を身につけた
 い、と多くの研修医が希望していると思います。当
 院は茨城県南で最も南東に位置している二次救急
 病院であり、利根川沿いの稲敷地域の救急医療を担っています。
 また地域医療支援病院としてかかりつけ医との連携を重視していま
 す。
 実際の臨床では複数の疾患を同時に抱えていたり、疾患のみで
 なく認知機能低下や生活環境、経済的問題などを含めて患者さん
 の包括的なサポートが必要です。210床と病院規模は小ぶりです
 が、顔が見える関係により診療科の壁は低く、スタッフの協力も得
 やすく、小回りがきいて動きやすい環境で、個々の希望に応じた経
 験を積むことが可能です。ぜひ一緒に働きましょう。



20 友愛記念病院

＼ 病院の概要 ／

開設 | 1981年1月
開設者 | 茨城県民生活協同組合
院長名 | 加藤 奨一
病床数 | 325床

標榜科
(26科) | 内科、外科、眼科、小児科、整形外科、
脳神経外科、放射線科、呼吸器外科、
婦人科、麻酔科、形成外科、消化器外科、
消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、
乳腺外科、大腸・肛門外科、皮膚科、
泌尿器科、リハビリテーション科、
病理診断科、血液内科

医師数 | 49人
指導医数 | 15人
研修医数 | 4人

研修医の主な
出身大学 | 筑波大学、日本大学、
琉球大学 他

外来患者数 | 533人／日

入院患者数 | 160人／日

＼ 募集要項 ／

応募資格 | 2024年3月国家試験合格見込者
採用人数 | 7名（予定）
試験日程 | 個人調整により決定
選考方法 | 書類審査、筆記試験（小論文）、面接
処遇 | ■身 分：医員（研修医）
■給 与：1年次基本給40万円
その他諸手当等を含む年収約540万円
2年次基本給50万円
その他諸手当等を含む年収約660万円
■社会保険：全国健康保険協会・雇用保険・厚生年金保険・労災保険
■宿 舎：有り（女性専用寮）
■その他：住宅補助／病院借上アパート賃料分月50000円限度
引越し費用負担
■休 日：土曜日午後、日曜、祝日
夏季休暇10日、年末年始12/29～1/3
年次有給休暇10日（1年次）、13日（2年次）

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…5～6年生
- 宿泊…遠方者には宿泊先を提供
- 問い合わせ先
担当者：臨床研修担当 長谷部 剛
TEL：0280-97-3000
E-mail：thasebe@yuai-hosp-jp.org



＼ 応募・問合せ先 ／

友愛記念病院

〒306-0232 茨城県古河市東牛谷707
担当者：臨床研修担当 長谷部 剛
TEL：0280-97-3000
FAX：0280-97-3001
E-mail：thasebe@yuai-hosp-jp.org
URL：https://www.yuai-hosp-jp.org/index.html



東京・新宿より約60分
■JR東北本線（宇都宮線） 古河駅下車
東口より茨城急行バス『友愛記念病院行き』で約15分
■国道4号バイパス・東京方面から125号線交差点左折4.5km

女性医師支援

妊娠・出産・育児のための支援制度等

- ・育児短時間制度
- ・院内保育所の設置
- ・産前産後休暇、育児休業
- ・当直免除
- ・結婚休暇（連続7日間）

一 研修プログラムの特色

- ・地域の中核病院で、幅広い分野のプライマリ・ケアを経験できる。また、地域がん診療連携拠点病院として、がんの予防・早期発見・内視鏡的手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアまでトータルのがん治療を経験できる。
- ・「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」に参加しており、2年次の選択枠ではプロジェクトに参加する基幹病院での研修も可能。

■ 研修スケジュール例

<研修医1>

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内 科						外 科		麻酔	小児科	救 急	
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	一般外来	産科(院外)	地域(院外)	精神(院外)	自 由 選 択							

<研修医2>

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	外 科		麻酔	救急	内 科						自 由	
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	自 由 選 択							精神(院外)	地域(院外)	小児科	産科(院外)	一般外来
	救急（1回／1.5週）											

- ・必修（院内）：内科、外科、小児科、救急（協力病院）：地域医療、産婦人科、精神科
- ※救急科は他科選択中に当直勤務（半年間で1回/1.5週程度）することも可能
- ・自由選択枠（院内）：内科、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、病理診断科（協力病院）：産科、精神科、放射線診断
- ※自由選択科の研修科数、組み合わせ、期間は希望により設定可能
- ※いばらき夢チャレンジ参加病院 茨城西南医療センター病院（境町） J Aとりで総合医療センター（取手市）
霞ヶ浦医療センター（土浦市） 友愛記念病院（古河市）

■ 研修・認定施設一覧

- ・日本外科学会専門医制度指定認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医制度指定関連施設
- ・日本消化器病学会専門医制度指定関連施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修認定施設
- ・日本整形外科学会研修施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本麻酔科学会研修認定施設
- ・日本脈管学会認定研修関連施設
- ・日本乳癌学会認定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規定認定教育施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定研修施設群連携施設
- ・日本放射線腫瘍学会認定施設
- ・日本呼吸器外科学会専門医関連施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設

病院からメッセージ



院長
加藤 奨一 病院長

当院は1981年1月茨城県西地区の古河市に設立された病院で、2006年2月に病院を移転・新築しました。上野、新宿から約1時間の宇都宮線古河駅から車で約10分の所に位置し、都心からのアクセスも良好です。病床数は一般病床325床、診療科目は消化器科、一般内科、循環器科、呼吸器内科、糖尿病科、血液内科、肝臓科、外科、血管外科、大腸肛門科、乳腺甲状腺科、小児科、眼科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、放射線腫瘍科、麻酔科、緩和ケア科、形成外科と多岐にわたっています。特に、外科治療、化学療法、放射線治療、緩和ケアと、がん治療に力を入れており、地域がん診療連携拠点病院に指定されています。



研修責任者
兼信 正明 副院長

県の地域がん診療連携拠点病院の一つを担っており、癌診療では放射線を絡めた集学的治療を積極的に行ない、緩和ケア病棟を有し全人的医療を目指している。肺炎・胃腸炎・肝疾患など良疾患の総合診療としての初期対応にも重点を置き、内視鏡診断治療でも県内有数を誇る。緊急心カテ検査を積極的に行い、筑波大や県境ゆえに自治医・獨協大との連携も密で柔軟な研修が可能である。2017年より“いばらき夢チャレンジ”に参加。都心へのアクセスも1時間程度で学術集会等に参加でき、院内勉強会や内外講師の講演など卒後教育の機会も数多く準備している。通常プログラムの他に希望により診療科を跨いだ研修体制も備えている。臨床医の土台を自らも常に省みて更なる進歩を心がけています。一緒に頑張りましょう。



21 茨城西南医療センター病院

病院の概要

開設	1946年3月
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	野村 明広
病床数	358床
標榜科 (28科)	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、神経内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、精神科、病理診断科
医師数	67人
指導医数	31人
研修医数	14人
研修医の主な 出身大学	筑波大学、東京医科大学、 琉球大学、秋田大学

外来患者数 | 792人/日

入院患者数 | 266人/日

募集要項

応募資格	2024年3月国家試験合格見込者
採用人数	8名（予定）
試験日程	2023年8月（予定）
選考方法	面接
処遇	■身分：常勤職員 ■給与：1年次基本給30万円 その他諸手当等を含む年収約480万円 （時間外勤務手当等は別途支給） 2年次基本給35万円 その他諸手当等を含む年収約650万円 （時間外勤務手当等は別途支給） ■社会保険：有り ■宿舍：単身用有り ■その他：公的年金有り、労働災害保険有り

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…可能（無料）
研修医の宿舎に宿泊可能（要確認）
- 問い合わせ先
担当者：秘書室 長谷川・中澤、庶務課 佐藤
TEL：0280-87-8111（内線2423）
E-mail：kensyu-hisho@seinan-mch.or.jp



応募・問合せ先

茨城西南医療センター病院

〒306-0433 茨城県猿島郡境町2190
担当者：秘書室 長谷川・中澤、庶務課 佐藤
TEL：0280-87-8111（内線2421）
FAX：0280-86-7702
E-mail：shomuka@seinan-mch.or.jp
URL：http://www.seinan-mch.or.jp



- JR宇都宮線の場合
古河駅西口より境車庫行きバス「西南医療センター病院入口」下車、徒歩3分
- 東武伊勢崎線の場合
東武動物公園駅より境車庫行きバス「西南医療センター病院入口」下車、徒歩3分
- 圏央道 境古河ICより約5分

女性医師支援

- ・院内保育所の設置
（0歳児から小学校就学前の児童対象）
（毎週月・木は24時間保育）
- ・病児保育の設置
（生後3ヶ月から小学生
までの児童対象）
- ・妊娠中、育児中の
当直勤務免除
- ・育児短時間勤務可能



保育所

研修プログラムの特色

全ての科目において、幅広い医学、臨床の基本的知識、技能、姿勢を習得可能です。なかでも救命救急センターは三次救急のほか、一次、二次救急も対象としているため、早期よりプライマリ・ケアの基本的診療が可能です。更に第一線の中核病院として、地域医療を支えている小児科や産婦人科でのアクティブな研修も可能です。

筑波大学附属病院、水戸協同病院を協力型臨床研修病院としており同院での研修も可能なほか、当院、JAとりで総合医療センター、友愛記念病院、霞ヶ浦医療センターの4病院で「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」を構成しており、各病院の得意分野を生かしながら相互に研修を受けられる教育プログラムを構築しています。

研修スケジュール例

1年次	内科（24週）				外科（8週）	救急（12週）	自由選択（8週）
2年次	小児科（8週）	産婦人科（8週）	精神科（4週）	地域医療（4週）	自由選択（28週）		

院内もしくは院外において研修することができます。
筑波大学附属病院、水戸協同病院の他に「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」に参加する下記の病院での研修が可能です。
【参加病院】●JAとりで総合医療センター（取手市） ●友愛記念病院（古河市） ●霞ヶ浦医療センター（土浦市） ●茨城西南医療センター病院（当院）
地域医療：茨城西南医療センター病院附属八千代診療所、精神科：ホスピタル坂東

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会教育関連病院
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会教育関連施設
- ・日本外科学会認定医制度修練施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設
- ・日本呼吸器外科学会関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本脳神経外科学会専門医制度訓練施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設
- ・日本脳卒中学会研修教育病院認定施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・日本胸部外科学会関連施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修認定施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会専門医制度研修施設（補完施設）
- ・日本小児科学会小児科専門医制度専門医研修施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本がん治療認定機構認定研修施設
- ほか

病院からメッセージ



研修責任者
飯塚 正 内科部長

当院は救命救急センター（年間受診者数12,120人、年間救急車搬送数3,474件）を擁しており1次から3次救急まで多数かつ多様な症例を診療しています。また、第一線の地域中核病院として、各科が連携協力して専門性の高い医療を提供し、当地域の最後の砦として地域医療を支えています。

「鉄は熱いうちに打て」とことわざにありますが、研修医時代に幅広い医療を多く体験し、知識と技術を会得することは、医師としてのどの方面に進もうともきわめて重要です。当院の症例、指導医、設備いずれも充実した医療環境の中で研修することは、それらを可能にします。当院の提供する豊富な研修材料を利用して、何でも貪欲に吸収しようとする熱意ある研修医を求めます。



研修医
埴 裕太

当院は古河・坂東保健医療圏の3次救急病院として県西地域広域をカバーし軽症～重症まで幅広い患者層を対象としています。指導医の先生方は優しく親身な上に、目の前の研修医が次へステップアップするのに何が必要かを考え実践の機会を与えて下さります。

当院は「研修医一人ひとりが自分のペースで着実に研鑽を積める病院」です。県外の大学出身の私は学生時代に研修先をどこにするか大変悩み、何度もこのパンフレットを読み考え抜いた上でこの西南医療センターと出会いました。そしてそれは正解でした。

このページをお読みの皆様、ぜひ構えず気軽に見学へお越し下さい。見学なしで初期研修の候補から外してしまうにはあまりに惜しい病院です。

茨城県地域医療支援センター

～無限の可能性に向けて～

茨城県では、若手医師の皆さんが、県内の医療機関で充実した勤務をしながら自分の希望に応じたキャリアアップが図れるよう、2012年4月から若手医師の皆さんをサポートする「茨城県地域医療支援センター」を設置しています。

地域医療支援センターでは、地域医療のために必要な手技から最先端の高度医療まで、若いうちに学べるべき知識や経験を得ることができるよう、県内の医療機関や県医師会、筑波大学をはじめとした医科大学が一体となって、若手医師の皆さんを支援していきます。

茨城県地域医療支援センターの主な取り組み

○ 修学生医師等のキャリア形成支援

キャリアコーディネーターとの個別面談や情報提供を通じた、専門医・認定医資格の取得支援等

○ 医師確保計画に基づく医師不足地域の病院等への医師派遣業務

医師確保計画に基づく県内医師の配置調整

○ 医学生・医師のキャリアアップ支援

各種セミナー、研修会の開催

○ 総合相談窓口の設置と情報発信

総合相談窓口の設置及び全国の医師や医学生に対する本県での勤務の魅力を伝える情報の発信

○ 指導医の養成と研修体制の整備

指導医の養成支援、地域医療に従事するために必要な技術習得のための研修会等

○ 地域医療関係者との意見調整

県内医療関係者が一体となって取り組むための意見調整

茨城県地域医療支援センターの主な医師向けキャリア形成支援制度



JMECC講習会

緊急を要する急病患者に対応できるよう、日本内科学会が各ガイドラインに基づいて推奨している救急蘇生講習会を実施しています。

海外派遣事業

県内で勤務する医師の能力向上のため、海外の医療現場に一定期間派遣します。
なお、派遣期間中の経費は県が負担します。

指導医団国外派遣事業

【内 容】 指導医の指導能力向上のため、世界標準の先進的な指導及び教育に取り組んでいる米国（ハワイ）へ派遣します。

【期 間】 1週間程度

グローバル人材育成プログラム

【内 容】 優秀な若手医師を育成し、地域医療水準の高度化を図るため、欧米等の医療現場へ派遣します。

【期 間】 1ヶ月～2年間



シミュレーショントレーニング事業

○地域において政策医療を担う病院を中心に、SimMan3Gや超音波診断ファントム、アキュタッチシステムといった最先端のシミュレーション機器を巡回させて、トレーニングをする機会を提供します。



教育回診事業

指導体制の充実を図るため、著名な講師が県内の医療機関を巡回し、実際の症例をもとにしたケースカンファレンスやベッドサイドでの教育研修を実施しています。2022年度は6日間にわたり、12医療機関で開催しました。



○講師プロフィール

群星沖縄臨床研修センター長 **徳田 安春 先生**

沖縄県立中部病院総合内科、聖路加国際病院／聖ルカ・ライフサイエンス研究所、筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター、水戸協同病院総合診療科、地域医療機能推進機構（JCHO）本部顧問を経て、2017年4月より現職。

救急ライセンス研修

茨城県内の研修医を対象とする、日本ACLS協会のAHA（アメリカ心臓協会）公認プログラムによる救命処置研修を実施しています。



エコーハンズオントレーニング

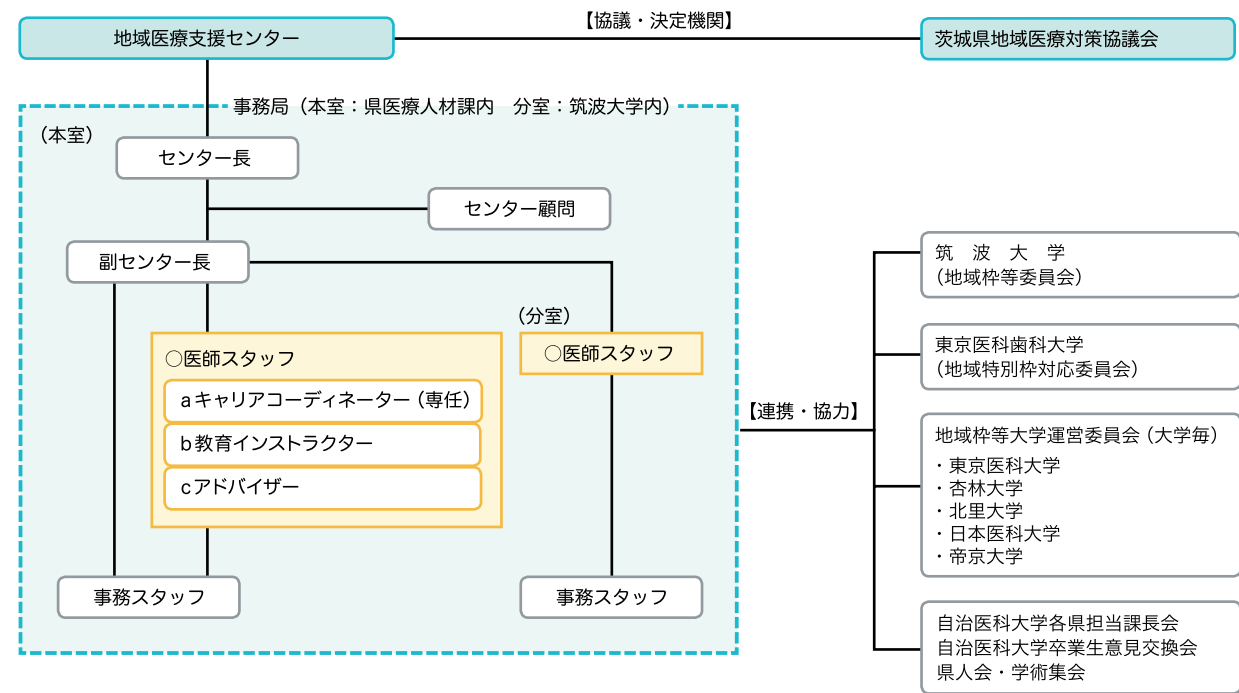
超音波装置の安全な使用法・ハンズオン・疾患別のエコー所見等を、少人数制で医師及び技師の方から直接ご指導いただける研修会を実施しています。



茨城県地域医療支援センターの組織・スタッフ体制

全県一丸となって若手医師をサポートします。

地域医療支援センター組織図



※各事業の日程については、決定次第、地域医療支援センターホームページに随時掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

イバラキドクターズライフ
(茨城県地域医療支援センターホームページ)
<https://ibaraki-dl.jp>



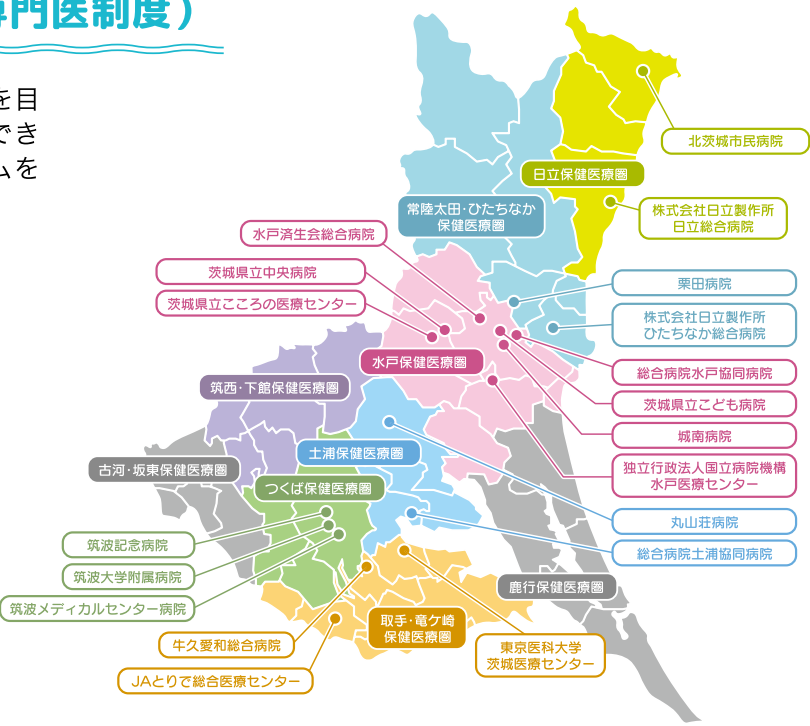
専門医を目指す方へ（新専門医制度）

茨城県では、臨床研修を修了し、専門医を目指す方が県内で充実した専門研修を実施できるよう、各基幹施設が専門研修プログラムを用意しています。
専門医資格の取得は、ぜひ茨城県内で！

<茨城県で専門研修を受けるメリット>

- 基本診療科19領域のうち、臨床検査科を除く18領域の専門医資格を取得できます！
- 基幹施設計19病院が、県内外の病院と連携しており、県内外の病院で様々な研修を受けることができます！
- 毎年150名程度の専攻医が採用されており、指導医や先輩医師から手厚いサポートを受けられます！

[専門研修プログラム基幹施設位置図]



各領域の状況（令和5年度研修開始）

●：基幹施設 ○：連携施設（他の基幹施設と連携）

病院名／領域	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療
総合病院水戸協同病院	●		○		○	●		○	○		○		○	○		○	○	○	○
水戸済生会総合病院	●	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
独立行政法人 国立病院機構 水戸医療センター	●		○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○		
茨城県立中央病院	●	○	○		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
株式会社 日立総合病院	●	○	○		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
株式会社 日立製作所 水戸医療センター	●	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
総合病院土浦協同病院	●	●	○		●	●	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
筑波記念病院	●				●	○	○	○	○		○	○	○	○		●	○	○	○
筑波大学附属病院	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○
筑波メディカルセンター病院	●	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○		●			○
東京医科大学茨城医療センター	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
JAとりで総合医療センター	●	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
牛久愛和総合病院	●		○		○	○		○			○			○		○	○		○
茨城県立こども病院		●			○						○		○	○					○
茨城県立こころの医療センター				○															○
栗田病院				○															
丸山荘病院				○															
北茨城市民病院	○				○			○											○
城南病院	○																		○